

# 写真管理基準（案）

## 1. 総 則

### 1-1 適用範囲

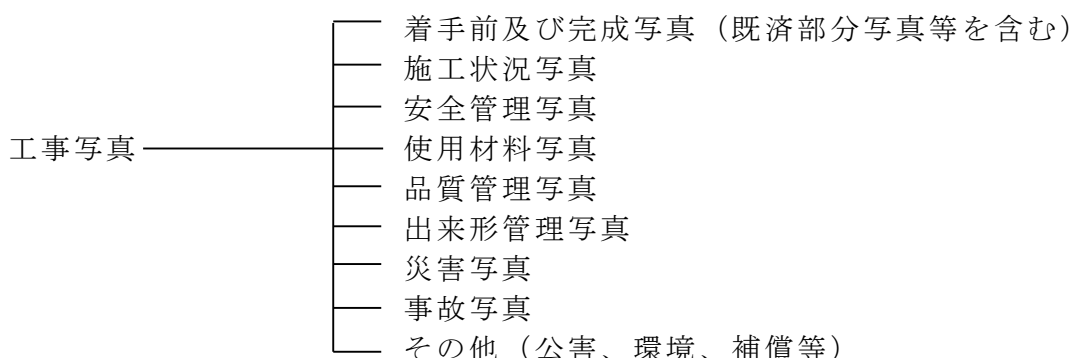
この写真管理基準は、土木工事施工管理基準に定める公共工事の工事写真による管理（デジタルカメラを使用した撮影～提出）に適用する。

なお、フィルムカメラを使用した撮影～提出とする場合は、別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準（案）」による。

また、写真を映像と読み替えることも可とする。

### 1-2 工事写真の分類

工事写真は次のように分類する。



## 2. 撮影

### 2-1 撮影頻度

工事写真は撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。

### 2-2 撮影方法

写真撮影にあたっては、以下の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- ① 工事名
- ② 工種等
- ③ 測点（位置）
- ④ 設計寸法
- ⑤ 実測寸法
- ⑥ 略図

小黒板の判読が困難となる場合は、小黒板等の拡大写真の添付や写真目次等の写真情報（写真管理項目-施工管理値）に必要事項を記入し、整理する。

また、特殊な場合で監督職員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

### 2-3 情報化施工

「~~3次元計測技術TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）~~」、「~~TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）~~」、「~~レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）~~」、「~~空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）~~」~~「無人~~

~~航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、  
「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)  
(案)」、  
「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、  
「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、  
「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)  
(案)」、  
「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」~~による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

また、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

#### 2-4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略する。

- (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略する。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略する。
- (3) 監督職員又は現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略する。

#### 2-5 写真の編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。ただし、『デジタル工事写真の黒板情報電子化について』（平成29年1月30日付け、国技建管第10号）に基づく黒板情報の電子的記入は、これに当たらない。

#### 2-6 撮影の仕様

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 有効画素数は黒板の文字が判読できることを指標とする。縦横比は3:4程度とする。  
(100万画素程度～2300万画素程度＝1,200×900程度～12,600×1,2500程度)

映像と読み替える場合は、以下も追加する。

- (3) 夜間など通常のカメラによる撮影が困難な場合は、赤外線カメラを用いる等確認可能な方法で撮影する。
- (4) フレームレートは、実速度で撮影する場合は、30fps程度を基本とする。高倍速での視聴を目的とする場合は、監督職員と協議の上、撮影時に必要な間隔でタイムラプス映像を撮影することができる。

#### 2-7 留意事項等

撮影箇所一覧表の適用について、以下を留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。
- (2) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (3) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図（撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など）を参考図として作成する。
- (4) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督職員と写真管理項目

を協議のうえ取り扱いを定めるものとする。

### 3. 整理提出

撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本を電子媒体に格納し、監督職員に提出するものとする。

写真ファイルの整理及び電子媒体への格納方法（各種仕様）は「電子納品運用ガイドライン（簡易版）〔島根県農林水産部・土木部〕」によるものとする。

なお、電子媒体で提出しない場合は、別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準（案）」による。

### 4. その他

撮影箇所一覧表の用語の定義

- (1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所でその仕様が確認できる箇所をいう。
- (2) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。
- (3) 不要とは、原本は提出するが、工事写真帳として貼付整理し提出する必要がないことをいう。

撮影箇所一覧表(全体)

区分	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
着手前・完成	着手前	全景又は代表部分写真	着手前1回 〔着手前〕	着手前 1枚	
	完成	全景又は代表部分写真	施工完了後 適宜 〔完成後〕	施工完了後 1枚	
施工状況	工事施工中	全景又は代表部分の工事進捗状況	月1回 〔月末〕	不要	
		施工中の写真	工種、種別毎に設計図書、施工計画書に従い施工していることが確認できるように適宜 〔施工中〕	適宜	
			創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜 〔施工中〕	不要	創意工夫・社会性等に関する実施状況の提出資料に添付
	仮設(指定仮設)	使用材料、仮設状況、形状寸法	1 施工箇所に1回 〔施工前後〕	代表箇所 1枚	
	図面との不一致	図面と現地との不一致の写真	必要に応じて 〔発生時〕 ただし、「3次元計測技術(無人航空機)を用いた出来形管理要領(案)における空中写真測量(UAV)」による場合は、撮影毎に1回 〔発生時〕  ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)における地上型レーザースキャナー(TLS)、地上移動体搭載型レーザースキャナー(地上移動体搭載型LS)、無人航空機搭載型レーザースキャナー(UAVレーザー)、TS(ノンプリズム方式)、TS等光波方式、RTK-GNSS)による場合は、計測毎に1回 〔発生時〕	不要 ただし、「3次元計測技術(無人航空機)を用いた出来形管理要領(案)における空中写真測量(UAV)」による場合は、写真測量に使用したすべての画像(ICONフォルダに格納)  ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)における地上型レーザースキャナー(TLS)、地上移動体搭載型レーザースキャナー(地上移動体搭載型LS)、無人航空機搭載型レーザースキャナー(UAVレーザー)、TS(ノンプリズム方式)、TS等光波方式、RTK-GNSS)による場合は、代表箇所各1枚	工事打合簿に添付する。
安全管理	安全管理	各種標識類の設置状況	各種類毎に1回 〔設置後〕	不要	
		各種保安施設の設置状況	各種類毎に1回 〔設置後〕		
		監視員交通整理状況	各1回〔作業中〕		
		安全訓練等の実施状況	実施毎に1回 〔実施中〕		不要

使用材料	使用材料	形状寸法	各品目毎に1回	不要	品質証明に添付する。
		使用数量 保管状況	[使用前]		
		品質証明 (JISマーク表示)	各品目毎に1回		
		検査実施状況	各品目毎に1回		
			[検査時]		
品質管理		別添 撮影箇所一覧表（品質管理）に準じて撮影			
		不可視部分の施工	適宜	適宜	
出来形管理		別添 撮影箇所一覧表（出来形管理）に準じて撮影			
		不可視部分の施工	適宜	適宜	
		出来形管理基準で定められていない	監督職員と協議事項		
災害	被災状況	被災状況及び被災規模等	その都度 [被災前] [被災直後] [被災後]	適宜	
事故	事故報告	事故の状況	その都度 [発生前] [発生直後] [発生後]	適宜	発生前は付近の写真でも可
補償関係外	補償関係	被害又は損害状況等	その都度 [発生前] [発生直後] [発生後]	適宜	
	環境対策 イメージアップ等	各施設設置状況	各種毎1回 [設置後]	適宜	

撮影箇所一覧表(品質管理)

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
1	セメント・コンクリート (転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工 コンクリート・吹付け コンクリートを除く) (施工)	塩化物総量規制	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]	不要	圧縮強度試験に使用した コンクリートの供試体が、当該現場の供試体 であることが確認できるもの
		スランプ試験			
		コンクリートの圧縮強度試験			
		空気量測定	品質に変化が見られた場合 [試験実施中]		
		コンクリートの曲げ強度試験	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]		
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		
	セメント・コンクリート (転圧コンクリート・コン クリートダム・覆工 コンクリート・吹付け コンクリートを除く) (施工後試験)	コンクリートの洗い分析試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		
		ひび割れ調査	対象構造物毎に1回 [試験実施中]		
		テストハンマーによる強度推定調査	テストハンマー試験により必要が認め られた時 [試験実施中]		
2	ガス圧接	外観検査	検査毎に1回 [検査実施中]	不要	
		超音波探傷検査			
3	既製杭工	外観検査	検査毎に1回 [検査実施中]	不要	
		浸透探傷試験	試験毎に1回 [試験実施中]		
		放射線透過試験			
		超音波探傷試験			
		水セメント比試験			
		セメントミルクの圧縮強度試験			
4	下層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	不要	
		プルーフローリング	路盤毎に1回 [試験実施中]		
		平板載荷試験	各種路盤毎に1回 [試験実施中]		
		骨材のふるい分け試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		
		土の液性限界・塑性限界試験			
		含水比試験			
5	上層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	不要	
		粒度			
		平板載荷試験			
		土の液性限界・塑性限界試験	観察により異常が認められた場 合 [試験実施中]		
		含水比試験			
6	アスファルト安定処理 路盤	アスファルト舗装に準拠		不要	
7	セメント安定処理路盤 (施工)	粒度	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	不要	
		現場密度の測定			
		含水比試験	観察により異常が認められた場 合 [試験実施中]		
		セメント量試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		

撮影箇所一覧表(品質管理)

番号	工種	写真管理項目			概要	
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度		
8	アスファルト舗装 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要		
		アスファルト量抽出粒度分析試験				
		温度測定				
		水浸ホイールラッキング試験				
		ホイールラッキング試験				
	ラベリング試験					
	アスファルト舗装 (舗設現場)	現場密度の測定	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要		
		温度測定				
外観検査 すべり抵抗試験						
9	転圧コンクリート (施工)	コンシステンシーVC試験	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]	不要		
		マーシャル突き固め試験				
		ランマー突き固め試験				
		コンクリートの曲げ強度試験	コンクリートの種類毎に1回 [温度測定中]			
		温度測定 (コンクリート)				
		現場密度の測定				コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]
		コアによる密度測定				
10	ガスアスファルト舗装 (プラント)	貫入試験40℃	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要		
		リュエル流動性試験240℃				
		ホイールラッキング試験				
		曲げ試験				
		粒度				
	アスファルト量抽出粒度分析試験					
	温度測定					
ガスアスファルト舗装 (舗設現場)	温度測定	合材の種類毎に1回 [試験実施中]				
11	路床安定処理工	現場密度の測定	路床毎又は施工箇所毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた 盛土の締固め管理要領」による 場合は、写真管理を省略する	不要		
		ブルーフローリング	路床毎に1回 [試験実施中]			
		平板載荷試験				
		現場CBR試験 含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]			
		たわみ量	ブルーフローリングの不良個所について実施 [試験実施中]			
12	表層安定処理工 (表層混合処理)	含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]	不要		
		現場密度の測定	材質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた 盛土の締固め管理要領」による 場合は、写真管理を省略する			
		ブルーフローリング	工種毎に1回 [試験実施中]			
		平板載荷試験	材質毎に1回 [試験実施中]			
		現場CBR試験				
		たわみ量	ブルーフローリングの不良個所について実施 [試験実施中]			

撮影箇所一覧表(品質管理)

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
13	固結工	土の一軸圧縮試験	材質毎に1回 [試験実施中]	不要	
14	アンカー工	モルタルのフロー値試験 モルタルの圧縮強度試験 多サイクル確認試験 1サイクル確認試験	適宜 [試験実施中]	不要	
14-1	鉄筋挿入工	モルタルのフロー値試験 モルタルの圧縮強度試験 受け入れ試験	適宜 [試験実施中]	不要	
15	補強土壁工	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた 盛土の締固め管理要領」による 場合は、写真管理を省略する	不要	
16	吹付工(施工)	塩化物総量規制 コンクリートの圧縮強度試験  スランブ試験 空気量測定 コアによる強度試験	配合毎に1回 [試験実施中]  品質に変化がみられた場合 [試験実施中]  品質に異常が認められた場合 [試験実施中]	不要	モルタルを除く
17	現場吹付法砕工	コンクリートの圧縮強度試験 塩化物総量規制 コアによる強度試験 スランブ試験 空気量測定 ロックボルトの引抜き試験	配合毎に1回 [試験実施中]  品質に異常が認められた場合 [試験実施中]  品質に変化がみられた場合 [試験実施中]  試験毎に1回 [試験実施中]	不要	モルタルを除く
18 19	河川・海岸土工(施工)	現場密度の測定  土の含水比試験 コーン指数の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた 盛土の締固め管理要領」による 場合は、写真管理を省略する  含水比に変化が認められた場 合 [試験実施中]  トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中]	不要	
20	砂防土工	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた 盛土の締固め管理要領」による 場合は、写真管理を省略する	不要	



撮影箇所一覧表(品質管理)

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
21	道路土工 (施工)	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中]	不要	
		プルーフローリング	工種毎に1回 [試験実施中]		
		平板載荷試験	土質毎に1回 [試験実施中]		
		現場CBR試験	土質毎に1回 [試験実施中]		
		含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]		
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中]		
		たわみ量	プルーフローリングの不良個所について実施 [試験実施中]		
22	捨石工	岩石の見掛比重	産地又は岩質毎に1回 [試験実施中]	不要	
		岩石の吸水率			
		岩石の圧縮強さ			
		岩石の形状			
23	コンクリートダム(材料)	アルカリ骨材反応対策	採取地毎に1回 [試験実施中]	不要	
		骨材の密度及び吸水率試験			
		骨材のふるい分け試験			
		砂の有機不純物試験	砂質毎に1回 [試験実施中]		
		モルタルの圧縮強度による砂の試験			
		骨材の微粒分量試験	骨材毎に1回 [試験実施中]		
		粗骨材中の軟石量試験			
		骨材中の粘土塊量の試験			
		硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験			
		粗骨材のすりへり試験			
		骨材中の比重 $1.95\text{g/cm}^3$ の液体に浮く粒子の試験			
		練り混ぜ水の水質試験			
		コンクリートダム(施工)	塩化物総量規制		
	スランプ試験		品質に変化が認められた場合 [試験実施中]		
	空気量測定				
	コンクリートの圧縮強度試験		配合毎に1回 [試験実施中]		
	温度測定		圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの 気温・コンクリート		
	コンクリートの単位容積質量試験				
	コンクリートの洗い分析試験				
	コンクリートのブリージング試験				
コンクリートの引張強度試験					
コンクリートの曲げ強度試験					

撮影箇所一覧表(品質管理)

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
24	覆工コンクリート(NATM)	スランブ試験	品質に変化が認められた場合 [試験実施中]	不要	
		コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 [試験実施中]		
		塩化物総量規制			
		空気量測定	品質に変化が認められた場合 [試験実施中]		
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		
		コンクリートの洗い分析試験	[試験実施中]		
25	吹付けコンクリート(NATM)	塩化物総量規制	配合毎に1回 [試験実施中]	不要	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの
		コンクリートの圧縮強度試験			
		スランブ試験	品質に変化が認められた場合 [試験実施中]		
		空気量測定			
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		
		吹付けコンクリートの初期強度	トンネル施工長40mごとに1回		
26	ロックボルト(NATM)	モルタルの圧縮強度試験	配合毎に1回 [試験実施中]	不要	
		モルタルのフロー値試験			
		ロックボルトの引抜き試験	適宜		
27	路上再生路盤工(材料)	修正CBR試験	材料毎に1回 [試験実施中]	不要	
		土の粒度試験			
		土の含水比試験			
		土の液性限界・塑性限界試験			
	路上再生路盤工(施工)	現場密度の測定	材料毎に1回 [試験実施中]		
		土の一軸圧縮試験			
	CAEの一軸圧縮試験				
	含水比試験				
28	路上表層再生工(材料)	旧アスファルト針入度	材料毎に1回 [試験実施中]	不要	
		旧アスファルトの軟化点			
	路上表層再生工(施工)	現場密度の測定	材料毎に1回 [試験実施中]		
		温度測定			
		かきほぐし深さ			
		粒度			
	アスファルト量抽出粒度分析試験				
29	排水性舗装工・透水性舗装工(プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要	
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
		温度測定			
		水浸ホイールラッキング試験			
		ホイールラッキング試験			
		ラベリング試験			
		カンダプロ試験			
	排水性舗装工・透水性舗装工(舗設現場)	温度測定	合材の種類毎に1回 [試験実施中]		
		現場透水試験			
		現場密度の測定			
	外観検査				
30	プラント再生舗装工(プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要	
		再生アスファルト量			
		水浸ホイールラッキング試験			
		ホイールラッキング試験			
		ラベリング試験			
	プラント再生舗装工(舗設現場)	外観検査	合材の種類毎に1回 [試験実施中]		
		温度測定			
		現場密度の測定			

撮影箇所一覧表(品質管理)

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
31	工場製作工	外観検査	1橋に1回又は1工事に1回〔現物照合時〕	不要	
		在庫品切出	当初の物件で1枚〔切出時〕※ 他は焼き増し		
		機械試験	1橋に1回又は1工事に1回〔試験実施中〕		
32	ガス切断工	表面粗さ	試験毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		ノッチ深さ			
		スラグ			
		上縁の溶け			
		平面度			
		ベベル精度			
		真直度			
33	溶接工	引張試験	試験毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		型曲げ試験			
		衝撃試験			
		マクロ試験			
		非破壊試験			
		突合せ継手の内部欠陥に対する検査			
		外観検査			
		曲げ試験			
		ハンマー打撃試験			
34	中層混合処理	テーブルフロー試験	適宜 〔試験実施中〕	不要	
		土の一軸圧縮試験	材質毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
35	耕作道路工(路盤工)	骨材のふるい分け試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕	不要	
		土の液性限界・塑性限界試験			
		含水比試験			
36	開排水路土工(施工)	現場密度の測定	土質毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		土の含水比試験	含水比に変化が認められた場合 〔試験実施中〕		
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 〔試験実施中〕		
37	砂基礎工(材料)	締固め試験	当初及び品質に変化が認められた場合 〔試験実施中〕	不要	
		土粒子の密度試験			
		土の含水比試験			
	砂基礎工(施工)	現場密度の測定	土質毎に1回 〔試験実施中〕		
38	ため池堤体工(材料)	締固め試験	当初及び品質に変化が認められた場合 〔試験実施中〕	不要	
		土粒子の密度試験			
		含水比試験			
		土の粒度試験			
		土の三軸圧縮試験			
	ため池堤体工(施工)	現場密度の測定 現場透水試験(遮水性ゾーンのみ)			
39	管布設工	通水試験	試験毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
40	間伐材	防腐処理	試験実施中	不要	

撮影箇所一覧表(品質管理)

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
41	砂防ソイルセメント (転圧タイプ)	ふるい分け試験 (粒度試験)	1回/1材料 [試験実施中]		
		含水比試験			
		現場密度試験			
		圧縮強度試験			
		六価クロム溶出試験			
42	砂防ソイルセメント (流動タイプ)	含水率試験	1施工箇所又は材料毎に1回		
		密度試験 (セメントミルク密度)	1施工箇所1回		
		圧縮強度試験	1施工箇所又は材料毎に1回		
		六価クロム溶出試験	1回/1材料 [試験実施中]		

# 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第1編 共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
1 共通編	2 土工	3 開排水路土工・河川土工・海岸土工・治山土工・砂防土工・用排水路土工・	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	1-2-3-2
						法長 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所1回 〔掘削後〕		
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)土工編多点計測技術(面管理の場合)」による場合は1工事に1回 〔掘削後〕		
						「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)土工編多点計測技術(面管理の場合)における空中写真測量(UAV)」に基づき写真測量に用いた全ての画像を納品する場合には、写真管理に代える			
1 共通編	2 土工	3 工・河川土工・海岸土工・治山土工・	3		盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕	代表箇所 各1枚	1-2-3-3
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回		
							法長 幅 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	
						「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)土工編多点計測(面管理の場合)」による場合は1工事に1回 〔掘削施工後〕			
「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)土工編多点計測技術(面管理の場合)」に基づき写真測量に用いた全ての画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる									

【第1編 共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
1 共通編	2 土工	3 水路 河川 土工 ・ 開 排水 路 土工 ・ 砂 治 山 土工 ・ 用 排	4		盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工 法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補 強土工法)	厚さ	120m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	1-2-3-4
1 共通編	2 土工	3 水路 河川 土工 ・ 開 排水 路 土工 ・ 砂 治 山 土工 ・ 用 排	5		法面整形工(盛土部)	仕上げ状 況 厚さ	120m又は1施工箇所 に1回 〔仕上げ時〕	代表箇所 各1枚	1-2-3-5
1 共通編	2 土工	3 水路 河川 土工 ・ 開 排水 路 土工 ・ 砂 治 山 土工 ・ 用 排	6		堤防天端工	厚さ 幅	200mに1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	1-2-3-6
1 共通編	2 土工	4 道路 土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	1-2-4-2
					法長 ※右のいずれか で撮影する。	200m又は1施工箇所 に1回 〔掘削後〕			
						「3次元計測技術を用いた出 来形管理要領(案)土工編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は1工事に1回 〔掘削後〕			
									・出来映えの撮 影 ・TS等の設置状 況と出来形計測 対象点上のプリ ズムの設置状況 (プリズムが必要 な場合のみ)が わかるように撮 影

【第1編 共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)土工編 多点計測技術(面管理の場合)」に基づき写真測量に用いた全ての画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。		

【第1編 共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
1 共通編	2 土工	4 道路土工	3 4		路体盛土工 路床盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕	代表箇所 各1枚	1-2-4-3 1-2-4-4  ・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが必要な場合のみ)がわかるように撮影
							「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要		
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回 〔締固め時〕		
						法長 幅※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		
						「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)土工編多点計測技術(面管理の場合)」による場合は1工事に1回 〔掘削施工後〕			
						「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)土工編多点計測技術(面管理の場合)」に基づき写真測量に用いた全ての画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。			
1 共通編	2 土工	4 道路土工	5		法面整形工(盛土部)	仕上げ状況 厚さ	200m又は1施工箇所に1回 〔仕上げ時〕	代表箇所 各1枚	1-2-4-5
1 共通編	3 無筋、鉄筋コンクリート	7 鉄筋工	4	1	組立て	平均間隔	コンクリート打設毎に1回 (重要構造物かつ主鉄筋について適用)	代表箇所 各1枚	1-3-7-4
						かぶり	コンクリート打設毎に1回 (重要構造物かつ主鉄筋について適用)		
1 共通編	3 無筋、鉄筋コンクリート	7 鉄筋工	4	2	組立て ※新設のコンクリート構造物の内、橋梁上部工事と下部工事	非破壊試験 (電磁誘導法、電磁波レーダ法)	試験毎に1回 〔試験実施中〕	代表箇所各1枚〔試験種別毎〕	1-3-7-4



【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	4		矢板工(指定仮設・任意仮設は除く) (鋼矢板) (軽量鋼矢板) (コンクリート矢板) (広幅鋼矢板) (可とう鋼矢板)	根入長	40m又は1施工箇所 に1回 〔打込前後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-4
						変位	40m又は1施工箇所 に1回 〔打込後〕		
						数量	全数量 〔打込後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	5		縁石工(縁石・アスカーブ)	出来ばえ	1種別毎に1回 〔施工中〕	不要	3-2-3-5
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	6		小型標識工	基礎幅 基礎高さ 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回 〔施工後〕	不要	3-2-3-6
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	7		防止柵工 (立入防止柵) (転落(横断)防止柵) (車止めポスト)	※基礎幅 ※基礎高さ	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある場 合) 〔施工後〕	不要	3-2-3-7
						パイプ取付高	1施工箇所に1回 〔施工後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	8	1	路側防護柵工(ガードレール)	※基礎幅 ※基礎高さ ※配筋状況	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある場 合) 〔施工後〕	不要	3-2-3-8
						ビーム取付高	1施工箇所に1回 〔施工後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	8	2	路側防護柵工(ガードケー ブル)	※基礎幅 ※基礎高さ ※基礎延長	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある場 合) 〔施工後〕	不要	3-2-3-8
						ケーブル取付 高	1施工箇所に1回 〔施工後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	9		区画線工	材料使用量	全数量 〔施工前後〕	不要	3-2-3-9
						出来ばえ	施工日に1回 〔施工前後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	10		道路付属物工 (視線誘導標) (距離標)	高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	不要	3-2-3-10

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	11		コンクリート面塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量〔使用前後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-11	
						素地調整状況 (塗替)				スパン毎、部材別 〔施工前後〕
						塗装状況				各層毎に1回 〔塗装後〕
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	12	1	プレテンション桁製作工(購入工) (けた橋)	断面の外形寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	1スパンに1回 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-12	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	12	2	プレテンション桁製作工(購入工) (スラブ橋)	断面の外形寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	1スパンに1回 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-12	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	13		ポストテンション桁製作工	シーす、PC鋼材 配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-13	
						幅(上) 幅(下) 高さ				桁毎に1回 〔型枠取外後〕
						中詰め及びグラ ウト状況				1スパンに1回 〔施工時〕
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	14	1	プレキャストセグメント桁製作工(購入工)	断面の外形寸法	1スパンに1回 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-14	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	14	2	プレキャストセグメント主桁組立工	組立状況	1スパンに1回 〔組立時〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-14	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	15		PCホロースラブ製作工	シーす、PC鋼材 配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-15	
						幅 厚さ				桁毎に1回 〔型枠取外し後〕
						中詰め及びグラ ウト状況				1スパンに1回 〔施工時〕

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	16	1	PC箱桁製作工	シーす、PC鋼材配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-16
						幅(上) 幅(下) 高さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕		
						内空幅 内丹空高さ	桁毎に1回 〔型枠設置後〕		
						中詰め及びグラウト状況	1スパンに1回 〔施工時〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	16	2	PC押し箱桁製作工	シーす、PC鋼材配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-16
						幅(上) 幅(下) 高さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕		
						内空幅 円空高さ	桁毎に1回 〔型枠設置後〕		
						中詰め及びグラウト状況	1スパンに1回 〔施工時〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	17		根固めブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-17
						ブロックの形状 寸法	形状寸法変わる毎に1回 〔製作後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	18		沈床工	格子寸法 厚さ 割石状況 幅	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-18
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	19		捨石工	幅	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-19
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	22		階段工	幅 高さ 長さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-22

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3	2	3	24	1	伸縮装置工(ゴムジョイント)	設置状況	1スパンに1回 〔設置後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-24
3	2	3	24	2	伸縮装置工(鋼製フィンガー ジョイント)	設置状況	1スパンに1回 〔設置後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-24
3	2	3	26	1	多自然型護岸工 (巨石張り、巨石積み)	胴込裏込厚	120m又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-26
						法長	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕		
3	2	3	26	2	多自然型護岸工 (かごマット)	高さ 法長	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-26
3	2	3	27	1	羽口工 (じゃかご)	法長 厚さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-27
3	2	3	27	2	羽口工 (ふとんかご、かご枠)	高さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-27
3	2	3	28		プレキャストカルバート工 (プレキャストボックス工) (プレキャストパイプ工)	据付状況	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-28
						※幅 ※高さ	200m又は1施工箇所 に1回 (※印は場所打ちのある場合) 〔埋戻し前〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3	2	3	29	1	側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝) (自由勾配側溝) (管渠)	据付状況	200m又は1施工箇所 に1回 〔埋戻し前〕	不要	3-2-3-29
3	2	3	29	2	場所打水路工	厚さ 幅 高さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-29
3	2	3	29	3	暗渠工	幅 深さ	120m又は1施工箇所 に1回 〔埋戻し前〕	不要	3-2-3-29
3	2	3	30		集水柵工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	不要	3-2-3-30
3	2	3	31		現場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量 〔使用前後〕	代表箇所 各1枚	3-2-3-31
						ケレン状況 (塗替)	スパン毎、部材別 〔施工前後〕		
						塗装状況	各層毎1スパンに1回 〔塗装後〕		
3	2	4	1		一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均しコンクリート)	幅 厚さ	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	不要	3-2-4-1
3	2	4	3	1	基礎工護岸(現場打)	幅 高さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	3-2-4-3

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3	2	4	3	2	基礎工護岸(プレキャスト)	据付状況	200m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-4-3
3	2	4	4		既製杭工 (既製コンクリート杭) (鋼管杭) (H鋼杭)	偏心量	1施工箇所に1回 〔打込後〕	代表箇所 各1枚	3-2-4-4
						根入長	1施工箇所に1回 〔打込前〕		
						数量	全数量 〔打込後〕		
						杭頭処理状況	1施工箇所に1回 〔処理前、中、後〕		
3	2	4	5		場所打杭工	根入長	1施工箇所に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-4-5
						偏心量	1施工箇所に1回 〔打込後〕		
						数量、杭径	全数量 杭頭余盛部の撤去前、 杭頭処理後		
						杭頭処理状況	1施工箇所に1回 〔処理前、中、後〕		
						鉄筋組立状況	1施工箇所に1回 〔組立後〕		
3	2	4	6		深礎工	根入長	全数量 〔掘削後〕	代表箇所 各1枚	3-2-4-6
						偏心量 数量、基礎径	全数量 〔施工後〕		
						ライナープレート 設置状況	1施工箇所に1回 〔掘削後〕		
						土質	土質の変わる毎に1回 〔掘削中〕		
						鉄筋組立状況	全数量 〔組立後〕		
3	2	4	7		オープンケーソン基礎工	沓	1基毎に1回 〔据付後〕	全枚数	3-2-4-7
						ケーソンの長さ ケーソンの幅 ケーソンの高さ ケーソンの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況	1ロット毎に1回 〔設置後及び型枠取外し後〕		
						載荷状況	1基に1回〔載荷時〕		
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に1回〔施工時〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	8		ニューマチックケーソン基礎工	沓	1基毎に1回 〔据付後〕	全枚数	3-2-4-8
						ケーソンの長さ ケーソンの幅 ケーソンの高さ ケーソンの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況	1ロット毎に1回 〔設置後及び型枠取外し後〕		
						載荷状況	1基に1回〔載荷時〕		
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に1回〔施工時〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	9		鋼管矢板基礎工	沓	1基毎に1回 〔据付後〕	全枚数	3-2-4-9
						根入長 偏心量 鉄筋組立状況	1基毎に1回 〔設置後〕		
						載荷状況	1基に1回〔載荷時〕		
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に1回〔施工時〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	5 石・ブロック積（張）工	3	1	コンクリートブロック工 （コンクリートブロック積） （コンクリートブロック張り）	厚さ(裏込)	120m又は1施工箇所 に1回〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-5-3
						法長 厚さ （ブロック積張）	200m又は1施工箇所 に1回〔施工後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	5 石・ブロック積（張）工	3	2	コンクリートブロック工（連節ブロック張り）	法長	200m又は1施工箇所 に1回〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1回	代表箇所 各1枚	3-2-5-3
3 土木工事共通編	2 一般施工	5 石・ブロック積（張）工	3	3	コンクリートブロック工（天端保護ブロック）	幅	200m又は1施工箇所 に1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-5-3

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	5 石 ・ ブ ロ ッ ク 積 ( 張 ) 工	4		緑化ブロック工	厚さ(裏込)	120m又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-5-4
					法長 厚さ(ブロック)	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1回			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	5 石 ・ ブ ロ ッ ク 積 ( 張 ) 工	5		石積(張)工	厚さ(裏込)	120m又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-5-5
					法長 厚さ(石積・張)	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1回			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	1	アスファルト舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回		
幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回								



【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	2	アスファルト舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)」「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	3	アスファルト舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	4	アスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
					幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	5	アスファルト舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
					幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	6	アスファルト舗装工(表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事1回〔実施中〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	8	1	半たわみ性舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは 標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	8	2	半たわみ性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは 標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場 合)」「TS等光波方式を用いた出 来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レーザースキヤ ナーを用いた出来形管理要領 (舗装工事編)(案)」、「地上移動 体搭載型レーザースキヤナーを 用いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方 式)を用いた出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」による場合は各 層毎1工事に1回 〔修正後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	8	3	半たわみ性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回		
		幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回						
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	8	4	半たわみ性舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回		
		厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回						
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	8	5	半たわみ性舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	6	半たわみ性舗装工(表層工)	修正状況	400mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						浸透性ミルク注入状況	400mに1回 〔注入時〕		
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	1	排水性舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9
						修正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	2	排水性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	3	排水性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		



【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	4	排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処理 工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」、 「TS等光波方式を用いた出来形 管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャナーを用 いた出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「地上移動体搭載型 レーザーキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編) (案)」、「TS(ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」により「厚さあるいは 標高較差」を管 理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	5	排水性舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9
						タックコート、プ ライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	6	排水性舗装工(表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9
						タックコート、プ ライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	10	1	透水性舗装工 路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-10
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形 管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用 いた出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編) (案)」、「TS(ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」により「厚さあるいは 標高較差」を管理する場合は各 層毎1工事に1回 〔整正後〕		
幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形 管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用 いた出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編) (案)」、「TS(ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」による場合は各層毎 1工事に1回								
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	10	2	透水性舗装工 表層工	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-10
						タックコート、プ ライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	11	1	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理 工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-11
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形 管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用 いた出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編) (案)」、「TS(ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」による場合は各層毎 1工事に1回 〔整正後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	11	2	グーアスファルト舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-11
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	11	3	グーアスファルト舗装工(表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-11
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	1	コンクリート舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕								

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	2	コンクリート舗装工(粒度調整路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
					幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	3	コンクリート舗装工(セメント(石灰・瀝青)安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	4	コンクリート舗装工(アスファルト中間層)	修正状況	400mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	5	コンクリート舗装工(コンクリート舗装版工)	石粉、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						スリップバー、 タイバー寸法、 位置	80mに1回 〔据付後〕		
						鉄網寸法 位置	80mに1回 〔据付後〕		
						平坦性	1工事1回〔実施中〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		
						目地段差	1工事に1回		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	6	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) 下層路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「TS(プリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎		
					幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「TS(プリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎 1工事に1回 〔整正後〕			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	7	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編) (案)」、「TS(プリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは 標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		



【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	8	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回		
幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕								
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	9	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) アスファルト中間層	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、 「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	12	10	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工)	敷均し厚さ 転圧状況	400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
					厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形 管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用 いた出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編) (案)」、「TS(ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」により「厚さあるいは 標高較差」を管理する場合は各 層毎1工事に1回 〔修正後〕			
					平坦性	1工事1回 〔実施中〕			
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	12	11	コンクリート舗装工(連続鉄筋 コンクリート舗装工)	石粉、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12
					鉄筋寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕			
					横膨張目地部 ダウエルバー 寸法、位置	1施工箇所に1回 〔据付後〕			
					縦そり突合せ 目地部・縦そり ダミー目地部 タイプ寸法、位 置	80mに1回 〔据付後〕			
					平坦性	1工事1回〔実施中〕			
					厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム工法の 場合は打設前後〕 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形 管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用 いた出来形管理要領(舗装工事 編)(案)」、「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを用いた出来 形管理要領(舗装工事編) (案)」、「TS(ノンプリズム方式)を 用いた出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」により「厚さあるいは 標高較差」を管理する場合は各 層毎1工事に1回 〔修正後〕			
目地段差	1工事に1回								

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	13	1	薄層カラー舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形 管理要領(舗装工事編)(案)」に よる場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	13	2	薄層カラー舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形 管理要領(舗装工事編)(案)」に よる場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	13	3	薄層カラー舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不 要		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形 管理要領(舗装工事編)(案)」に よる場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	13	4	薄層カラー舗装工(加熱アス ファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「TS等光波方式を用いた出来形 管理要領(舗装工事編)(案)」に よる場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	5	薄層カラー舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	1	ブロック舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-14
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	2	ブロック舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-14
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	3	ブロック舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-14
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	14	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理 工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-14
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「 TS等光波方式を用いた出来形 管理要領(舗装工事編)(案)」に よる場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	14	5	ブロック舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-14
						タックコート、プ ライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	15		路面切削工	幅 厚さ(基準高)	1施工箇所1回 〔施工後〕 ただし、「3次元計測技術を用い た出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」「 TS等光波方式を用いた出来形 管理要領(舗装工事編)(案)」に よる場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-15
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	16		舗装打換え工	幅 延長 厚さ	1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-16
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	17		オーバーレイ工	平坦性	1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-17
						タックコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						整正状況	400mに1回 〔施工後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	2		路床安定処理工	施工厚さ 幅	40mに1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-7-2
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	3		置換工	置換厚さ 幅	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-7-3

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3	2	7	5		パイルネット工	厚さ 幅	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-7-5
3	2	7	6		サンドマット工	施工厚さ 幅	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-7-6
3	2	7	8		バーチカルドレーン工 (サンドドレーン工) (ペーパードレーン工) (袋詰式サンドドレーン工) 締固め改良工 (サンドコンパクションパイル工)	打込長さ 出来ばえ	200mm <sup>2</sup> 又は1施工箇所 に1回 〔打込み前後〕	代表箇所 各1枚	3-2-7-7
						杭径 位置・間隔	200mm <sup>2</sup> 又は1施工箇所 に1回 〔打込後〕		
						砂の投入量	全数量 〔打込前後〕		
3	2	7	9	1	固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	位置・間隔 杭径	1施工箇所に1回 〔打込後〕	代表箇所 各1枚	3-2-7-9
						深度	1施工箇所に1回 〔打込前後〕		
3	2	7	9	2	固結工 (中層混合処理)	ただし、(スラリー攪拌工)において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)固結工(スラリー攪拌工)編」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。		代表箇所 各1枚	3-2-7-9
						施工厚さ 幅	1,000m <sup>3</sup> ～4,000m <sup>3</sup> につき1回、又は施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1回。 〔施工厚さ 施工中〕 〔幅 施工後〕		
3	2	10	5	1	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	変位 根入長	40m又は1施工箇所 に1回 〔打込前〕	代表箇所 各1枚	3-2-10-5
						数量	全数量 〔打込後〕		
3	2	10	5	2	土留・仮締切工(アンカー工)	削孔深さ	1施工箇所に1回 〔削孔後〕	代表箇所 各1枚	3-2-10-5

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
工事共通編	施工					配置誤差	1施工箇所1回 〔施工後〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	5	3	土留・仮締切工(連節ブロック張り工)	法長	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1回	代表箇所 各1枚	3-2-10-5
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	5	4	土留・仮締切工(締切盛土)	天端幅 法長	250m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-10-5
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	5	5	土留・仮締切工(中詰盛土)	出来ばえ	250m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-10-5
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	9		地中連続壁工(壁式)	連壁の長さ 変位	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-10-9
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	10		地中連続壁工(柱列式)	連壁の長さ 変位	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-10-10
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	22		法面吹付工		第3編3-2-3-614-3吹付工に 準ずる		3-2-10-22



【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3	2	12	1	1	鑄造費(金属支承工)	製作状況	適宜 [製作中]	代表箇所各1枚	3-2-12-1
3	2	12	1	2	鑄造費(大型ゴム支承工)	製作状況	適宜 [製作中]	代表箇所各1枚	3-2-12-1
3	2	12	1	3	仮設材製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 [原寸時]	代表箇所各1枚	3-2-12-1
						製作状況	適宜 [製作中]		
3	2	12	1	4	刃口金物製作工	刃口高さ 外周長	1施工箇所1回 [仮組立時]	代表箇所各1枚	3-2-12-1
3	2	12	3	1	桁製作工(仮組立による検査を実施する場合) (シミュレーション仮組立検査を行う場合)	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 [原寸時]	代表箇所各1枚	3-2-12-3 ※シミュレーション仮組立検査の場合は仮組立寸法を省略
						製作状況	適宜 [製作中]		
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1橋に1回又は1工事に1回 [仮組立時]		
3	2	12	3	2	桁製作工(仮組立検査を実施しない場合)	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 [原寸時]	代表箇所各1枚	3-2-12-3
						製作状況	適宜 [製作中]		
3	2	12	3	3	桁製作工(鋼製堰堤製作工(仮組立時))	仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1基に1回又は1工事に1回 [仮組立時]	代表箇所各1枚	3-2-12-3
3	2	12	4		検査路製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 [原寸時]	代表箇所各1枚	3-2-12-4

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
工事共通編	施工	作工				製作状況	適宜 [製作中]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	5		鋼製伸縮継手製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 [原寸時]	代表箇所各1枚	3-2-12-5
						製作状況	適宜 [製作中]		
						仮組立寸法	1橋に1回又は1工事に1回 [仮組立時]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	6		落橋防止装置製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 [原寸時]	代表箇所各1枚	3-2-12-6
						製作状況	適宜 [製作中]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	7		橋梁用防護柵製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 [原寸時]	代表箇所各1枚	3-2-12-7
						製作状況	適宜 [製作中]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	8		アンカーフレーム製作工	仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1橋に1回又は1工事に1回 [仮組立時]	代表箇所各1枚	3-2-12-8
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	9		プレビーム用桁製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 [原寸時]	代表箇所各1枚	3-2-12-9
						製作状況	適宜 [製作中]		
						仮組立寸法	1橋に1回又は1工事に1回 [仮組立時]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	10		鋼製排水管製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 [原寸時]	代表箇所各1枚	3-2-12-10
						製作状況	適宜 [製作中]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	11		工場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量 [使用前後]	代表箇所各1枚	3-2-12-11
						素地調整状況 (塗替)	部材別 [施工前後]		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
通編						塗装状況	各層毎に1回 〔塗装後〕		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	13 橋 梁 架 設 工	1		架設工 (クレーン架設) (ケーブルクレーン架設) (ケーブルエレクション架設) (架設桁架設) (送出し架設) (トラバラークレーン架設)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	代表箇所 各1枚	3-2-13-1
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	14 法 面 工	2	1	植生工 (種子散布工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート工、植生マット工) (植生筋工) (人工張芝工) (植生穴工)	材料使用量	1工事に1回 〔混合前〕	代表箇所 各1枚	3-2-14-2
					土羽土の厚さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕			
					法長	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	14 法 面 工	2	2	植生工 (植生基材吹付工) (客土吹付工)	清掃状況	200m又は1施工箇所 に1回 〔清掃後〕	代表箇所 各1枚	3-2-14-2
					ラス鉄網の重ね 合せ寸法	200m又は1施工箇所 に1回 〔吹付前〕			
					厚さ(検測孔)	200mm <sup>2</sup> 又は1施工箇所 に1回 〔吹付後〕			
					法長	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕			
					材料使用量	1工事に1回 〔混合前〕			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	14 法 面 工	3		吹付工 (コンクリート) (モルタル)	清掃状況	200m又は1施工箇所 に1回 〔清掃後〕	代表箇所 各1枚	3-2-14-3
					ラス鉄網の重ね 合せ寸法	200m又は1施工箇所 に1回 〔吹付前〕			
					法長	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕			
					厚さ(検測孔)	200mm <sup>2</sup> 又は1施工箇所 に1回 〔吹付後〕			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	14 法 面 工	4	1	法砕工 (現場打法砕工) (現場吹付法砕工)	法長、 幅、 高さ、 砕中心間隔	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕  ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)法面工 編」に基づき写真測量に用いた 画像を納品する場合には、写真 管理に代えることが出来る。	代表箇所 各1枚	3-2-14-4

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3	2	14	4	2	法枠工(プレキャスト法枠工)	法長	200m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-14-4
3	2	14	6		アンカー工	削孔深さ	全数 〔削孔後〕	代表箇所 各1枚	3-2-14-6
					配置誤差	全数 〔施工後〕			
					アンカー体組立 状況	全数 〔組立完了後〕			
3	2	14	7	6	鉄筋挿入工	削孔深さ	5%以上かつ3本以上 〔削孔後〕	代表箇所 各1枚	3-2-14-76
					配置誤差	5%以上かつ3本以上 〔施工後〕			
					鋼材組立状況	5%以上かつ3本以上 〔組立完了後〕			
3	2	15	1		場所打擁壁工	裏込厚さ	120m又は1施工箇所1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-15-1
					厚さ 幅 高さ	200m又は1施工箇所1回 〔型枠取外し後〕			
3	2	15	2		プレキャスト擁壁工	据付状況	200m又は1施工箇所1回〔埋 戻し前〕	代表箇所 各1枚	3-2-15-2
3	2	15	3		盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工 法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補 強土工法)	高さ 鉛直度	120m又は1施工箇所1回〔施 工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-15-3
3	2	15	4		井桁ブロック工	裏込厚さ	120m又は1施工箇所1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-15-4
					法長 厚さ	200m又は1施工箇所1回 〔施工後〕			
3	2	16	1		浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船) (グラブ船) (バックホウ浚渫船)	運転状況	1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-16-1

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	-提出頻度	
3	2	18	1		床版主・横組工	幅 厚さ 鉄筋の有効-高 さ 鉄筋のかぶり 鉄筋間隔	1スパンに1回 〔打設前後〕	代表箇所 各1枚	3-2-18-1

【第6編 河川編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
6	河川編	1	7	4	護岸付属物工	幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-1-7-4	
6	河川編	1	10	8	杭出し水制工	径 杭長  幅 方向	1施工箇所 に1回 〔打込み前〕  1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-1-10-8	
6	河川編	1	13	3	配管工	配管状況	100m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	不要	6-1-13-3	
6	河川編	1	13	4	ハンドホール工	厚さ 幅 高さ	100m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	不要	6-1-13-4	
6	河川編	3	5	6	1	函渠工 (本体工)	厚さ 幅 内空幅 内空高	1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	6-3-5-6
6	河川編	3	5	6	2	函渠工 (ヒューム管) (PC管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)	据付状況	120m又は1施工箇所 に1回 〔巻立前〕	不要	6-3-5-6
6	河川編	3	5	7		翼壁工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	6-3-5-7

【第6編 河川編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管 本体工	8		水叩工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	6-3-5-8
6 河川編	4 水門	6 水門 本体工	7 8 9 10 11		床版工 堰柱工 門柱工 ゲート操作台工 胸壁工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	6-4-6-7
6 河川編	4 水門	9 鋼管 管理橋上 部工	10	1	支承工 (鋼製支承)	支承取付 状況	1スパン に1回 〔取付後〕	代表箇所 各1枚	6-4-9-10
6 河川編	4 水門	9 鋼管 管理橋上 部工	10	2	支承工 (ゴム支承)	支承取付 状況	1スパン に1回 〔取付後〕	代表箇所 各1枚	6-4- <del>12</del> 9-10
6 河川編	4 水門	12 橋梁付 属物工 〔鋼管 管理橋〕	4		地覆工	地覆の幅 地覆の高さ 有効幅員	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-4-12-4
6 河川編	4 水門	12 橋梁付 属物工 〔鋼管 管理橋〕	5 6		橋梁用防 護柵工 橋梁用高 欄工	幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-4-12-5

【第6編 河川編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
6 河川編	4 水門	12 橋梁付 属物工 （鋼管 管理橋）	7		検査路工	幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-4-12-7
6 河川編	5 堰	6 可動堰 本体工	13 14		閘門工 土砂吐工	厚さ 幅 高さ 延長	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-5-6-13 6-5-6-14
6 河川編	5 堰	7 固定堰 本体工	8 9 10		堰本体工 水叩工 土砂吐工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-5-7-8 6-5-7-9 6-5-7-10
6 河川編	5 堰	8 魚道工	3		魚道本体工	厚さ 幅 高さ	200m又は 測定箇所 毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-5-8-3
6 河川編	5 堰	9 管理橋 下部工	2		管理橋橋台工	厚さ 天端幅 (橋軸方 向) 数幅 (橋軸方 向) 高さ 胸壁の高 さ 天端長 数長	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-5-9-2
6 河川編	6 排水機 場	4 機場本 体工	6		本体工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-6-4-6
6 河川編	6 排水機 場	4 機場本 体工	7		燃料貯油槽工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	適宜	6-6-4-7



【第6編 河川編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
6 河川編	6 排水機場	5 沈砂池工	7		コンクリート床版工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-6-5-7
6 河川編	7 床止め・床固め	4 床止め工	6	1	本体工 (床固め本体工)	天端幅 堤幅 水通し幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-7-4-6
6 河川編	7 床止め・床固め	4 床止め工	8	1	水叩工	幅 厚さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-7-4-8
6 河川編	7 床止め・床固め	5 床固め工	6		側壁工	天端幅 長さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	6-7-5-6

【第7編 河川海岸編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
7	河川海岸編	1 堤防・護岸	5 護岸基礎工	5	場所打コンクリート工	幅 高さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔型枠取外後〕	代表箇所 各1枚	7-1-5-5
7	河川海岸編	1 堤防・護岸	5 護岸基礎工	6	海岸コンクリートブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	7-1-5-6
					ブロックの形状 寸法	形状寸法変わる毎に1回 〔製作後〕			
					据付状況	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕			
7	河川海岸編	1 堤防・護岸	6 護岸工	4	海岸コンクリートブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	7-1-6-4
					ブロックの形状 寸法	形状寸法変わる毎に1回 〔施工後〕			
					法長 厚さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕			
7	河川海岸編	1 堤防・護岸	6 護岸工	5	コンクリート被覆工	法長 厚さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	7-1-6-5
					裏込材厚	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕			
7	河川海岸編	1 堤防・護岸	8 天端被覆工	2	コンクリート被覆工	幅 厚さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	7-1-8-2
					基礎厚	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕			
7	河川海岸編	1 堤防・護岸	9 波返工	3	波返工	幅 高さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	7-1-9-3
7	河川海岸編	2 突堤・人工岬	4 突堤基礎工	4	捨石工	法長 天端幅	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	7-2-4-4
7	河川海岸編	2 突堤・人工岬	4 突堤基礎工	5	吸出し防止工	幅	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	7-2-4-5

【第7編 河川海岸編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
7	河川海岸編	2	5	2	捨石工	法長 天端幅	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	7-2-5-2	
7	河川海岸編	2	5	5	海岸コンクリートブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	7-2-5-5	
					ブロックの形状 寸法	形状寸法変わる毎 に1回 〔製作後〕				
					天端幅	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕				
7	河川海岸編	2	5	9	石砕工	厚さ 高さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	7-2-5-9	
					間詰石状況	1施工箇所 に1回 〔施工後〕				
7	河川海岸編	2	5	10	場所打コンクリート工	幅 高さ	200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	7-2-5-10	
7	河川海岸編	2	5	11	1	ケーソン工(ケーソン工製作)	壁厚 幅 高さ 長さ 底版厚さ フーチング高さ	1基に1回 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	7-2-5-11
7	河川海岸編	2	5	11	2	ケーソン工(ケーソン工据付)	据付状況	1施工箇所 に1回 〔据付後〕	代表箇所 各1枚	7-2-5-11
7	河川海岸編	2	5	11	3	ケーソン工(突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブロック	厚さ 幅	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	7-2-5-11
7	河川海岸編	2	5	12	1	セルラー工(セルラー工製作)	壁厚 幅 高さ	1基に1回 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	7-2-5-12

【第7編 河川海岸編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
7	河川海岸編	2	5	12	2	セルラー工(セルラー工据付)	据付状況	1施工箇所 に1回 〔据付後〕	代表箇所 各1枚	7-2-5-12
7	河川海岸編	2	5	12	3	セルラー工(突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブロック	厚さ 幅	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	7-2-5-12
7	河川海岸編	2	6	2		捨石工	法長 天端幅	200m又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	7-2-6-2
7	河川海岸編	2	6	3	根固めブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	7-2-6-3	
						ブロックの形状 寸法	形状寸法 変わる毎 に1回 〔製作後〕			
7	河川海岸編	2	7	3	消波ブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	7-2-7-3	
						ブロックの形状 寸法	形状寸法 変わる毎 に1回 〔製作後〕			
7	河川海岸編	3	3	3		捨石工	法長 天端幅	200m又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	7-3-3-3

【第8編 砂防編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
8 砂防編	1 砂防堰堤	3 工場製作工	4		鋼製堰堤仮設材製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	8-1-3-4	
						製作状況	適宜 〔製作中〕			
8 砂防編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	4		コンクリート堰堤本體工	骨材採取製造 コンクリート製造 運搬	月に1回 〔施工中〕	各月1枚	8-1-8-4	
						打継目処理 打込・養生	4リフト毎に1回 〔施工中〕			代表箇所 各1枚
						天端幅 堤幅 水通しの幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕			代表箇所 各1枚
8 砂防編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	6		コンクリート側壁工	天端幅 長さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	8-1-8-6	
8 砂防編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	8		水叩工	幅 厚さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	8-1-8-8	
8 砂防編	1 砂防堰堤	9 鋼製堰堤工	5	1	鋼製堰堤本體工(不透過型)	長さ 幅 下流側倒れ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	8-1-9-5	
8 砂防編	1 砂防堰堤	9 鋼製堰堤工	5	2	鋼製堰堤本體工(透過型)	堤長 堤幅 高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	8-1-9-5	
8 砂防編	1 砂防堰堤	9 鋼製堰堤工	6		鋼製側壁工	長さ 幅 下流側倒れ 高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	8-1-9-6	

【第8編 砂防編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
8 砂防編	2 流路	5 床固め工	8		魚道工	幅 高さ 厚さ	200m又は測定箇所毎に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	8-2-5-8
8 砂防編	3 斜面対策	6 山腹水路工	4		山腹明暗渠工	厚さ 幅 高さ 深さ	120m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	不要	8-3-6-4
8 砂防編	3 斜面対策	7 地下水排除工	4		集排水ボーリング工	削孔深さ 配置誤差	1施工箇所に1回 〔施工後〕	不要	8-3-7-4
8 砂防編	3 斜面対策	7 地下水排除工	5		集水井工	偏心量 長さ 巻立て幅 巻立て厚さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	不要	8-3-7-5
8 砂防編	3 斜面対策	9 抑止杭工	6		合成杭工	偏心量	1施行箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1回	8-3-9-6
						数量	全数量 〔打込後〕		

【第9編 ダム編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工(本体)	天端幅 ジョイント間隔 リフト高 堤幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-1-4
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工(水叩)	ジョイント間隔 幅 長さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-1-4
						打継目処理			奇数ブロック毎に岩着部中間 リフトに1回
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工(副ダム)	ジョイント間隔 リフト高 堤幅 堤長	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-1-4
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工(導流壁)	ジョイント間隔 リフト高 厚さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-1-4
9 ダム 編	2 フィ ルダ ム	4 盛立 工	5		コアの盛立	外側境界線	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-2-4-5
9 ダム 編	2 フィ ルダ ム	4 盛立 工	6		フィルターの盛立	外側境界線 盛立幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-2-4-6
9 ダム 編	2 フィ ルダ ム	4 盛立 工	7		ロックの盛立	外側境界線	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-2-4-7

【第9編 ダム編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
9 ダム 編	2 フィル ダム				フィルダム(洪水吐)	ジョイント間隔 厚さ 幅 リフト高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	適宜	9-2
9 ダム 編	3 基礎 グラウ チング	3 ボー リング 工			ボーリング工	ボーリング状況 水押テスト状況 グラウト状況 深度 配置誤差	ブロック毎に1回 〔施工中〕	適宜	9-3-3
						コア	地質変化毎全数量 〔抜取後〕		



【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
10	1	3	2	1	遮音壁支柱製作工	部材長	1施工箇所1回 〔製作後〕	代表箇所 各1枚	10-1-3-2
10	1	9	6		場所打函渠工	厚さ 幅(内空) 高さ	100m又は1施工箇所に1 回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	10-1-9-6
10	1	11	4		落石防止網工	幅	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	10-1-11-4
10	1	11	5		落石防護柵工	高さ	200m又は1施工箇所に1 回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	10-1-11-5
10	1	11	6		防雪柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ	200m又は1施工箇所に1 回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	10-1-11-6
10	1	11	7		雪崩予防柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ アンカー長	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	10-1-11-7
10	1	12	4		遮音壁基礎工	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所に1回 (施工前は必要に応じて) 〔施工前後〕	適宜	10-1-12-4
10	1	12	5		遮音壁本体工	支柱間隔 支柱ずれ 支柱倒れ 高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	10-1-12-5

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
10	2	4			歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	敷均し厚さ 転圧状況 整正状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕 各層毎400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	10-2-4
						厚さ 幅	各層毎200mに1回 〔整正後〕 各層毎80mに1回 〔整正後〕		
10	2	4			歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	10-2-4
						タックコート、プ ライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕		
10	2	5	9		排水性舗装用路肩排水工	据付状況	200m又は1施工箇所 に1回〔施工中〕	不要	10-2-5-9
10	2	7	4		踏掛版工 (コンクリート工) (ラバーシュー) (アンカーボルト)	<コンクリート工> 各部の長さ <ラバーシュー> 各部の長さ 厚さ <アンカーボルト> 中心のずれ アンカー長	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	10-2-7-4
10	2	9	4	1	大型標識工(標識基礎工)	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所に1回 〔施工後〕	適宜	10-2-9-4
10	2	9	4	2	大型標識工(標識柱工)	設置高さ	1施工箇所に1回	適宜	10-2-9-4
10	2	12	5	1	ケーブル配管工	配管状況	100m又は1施工箇所に1 回〔施工後〕	不要	10-2-12-5
10	2	12	5	2	ケーブル配管工(ハンド ホール)	厚さ 幅 高さ	100m又は1施工箇所に1 回〔施工後〕	不要	10-2-12-5
10	2	12	6		照明工(照明柱基礎工)	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所に1回 (施工前は必要に応じて) 〔施工前後〕	適宜	10-2-12-6

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
10 道路編	3 橋梁下部	3 工場製作工	3		鋼製橋脚製作工	原寸状況	1脚に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	10-3-3-3
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1脚に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕		
10 道路編	3 橋梁下部	6 橋台工	8		橋台躯体工	厚さ 天端幅(橋軸方向) 敷幅(橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	10-3-6-8
10 道路編	3 橋梁下部	7 RC橋脚工	9	1	橋脚躯体工 (張出式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	10-3-7-9
10 道路編	3 橋梁下部	7 RC橋脚工	9	2	橋脚躯体工(ラーメン式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	10-3-7-9
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	9	1	橋脚フーチング工(I型・T型)	幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外後〕	代表箇所 各1枚	10-3-8-9
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	9	2	橋脚フーチング工(門型)	幅 高さ	全数量 〔型枠取外後〕	代表箇所 各1枚	10-3-8-9
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	10	1	橋脚架設工(I型・T型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	代表箇所 各1枚	10-3-8-10
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	10	2	橋脚架設工(門型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	代表箇所 各1枚	10-3-8-10
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	11		現場継手工	継手部のすき間	1施工箇所1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	10-3-8-11
10 道路編	4 鋼橋上部	3 工場製作工	9		橋梁用高欄製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	10-4-3-9
						製作状況	適宜 〔製作中〕		

10 道路 編	4 鋼 橋 上 部	5 鋼 橋 架 設 工	10	1	支 承 工 ( 鋼 製 支 承 )	支 承 取 付 状 況	1 ス パ ン に 1 回 〔 取 付 後 〕	代 表 箇 所 各 1 枚	10-4-5-10
10 道路 編	4 鋼 橋 上 部	5 鋼 橋 架 設 工	10	2	支 承 工 ( ゴ ム 支 承 )	支 承 取 付 状 況	1 ス パ ン に 1 回 〔 取 付 後 〕	代 表 箇 所 各 1 枚	10-4-5-10
10 道路 編	4 鋼 橋 上 部	8 橋 梁 付 属 物 工	3		落 橋 防 止 装 置 工	ア ン カ ー ボ ル ト 孔 の 削 孔 長	1 施 工 箇 所 1 回 〔 削 孔 後 〕	代 表 箇 所 各 1 枚	10-4-8-3
10 道 路 編	4 鋼 橋 上 部	8 橋 梁 付 属 物 工			地 覆 工	地 覆 の 幅 地 覆 の 高 さ 有 効 幅 員	1 施 工 箇 所 に 1 回 〔 施 工 後 〕	代 表 箇 所 各 1 枚	10-4-8
10 道 路 編	4 鋼 橋 上 部	8 橋 梁 付 属 物 工			橋 梁 用 防 護 柵 工 橋 梁 用 高 欄 工	幅 高 さ	1 施 工 箇 所 に 1 回 〔 施 工 後 〕	代 表 箇 所 各 1 枚	10-4-8
10 道 路 編	4 鋼 橋 上 部	8 橋 梁 付 属 物 工			検 査 路 工	幅 高 さ	1 施 工 箇 所 に 1 回 〔 施 工 後 〕	代 表 箇 所 各 1 枚	10-4-8
10 道 路 編	5 コ ン ク リ ー ト 橋 上 部	6 プ レ ビ ー ム 桁 橋 工	2		プ レ ビ ー ム 桁 製 作 工 ( 現 場 )	原 寸 状 況	1 橋 に 1 回 又 は 1 工 事 に 1 回 〔 原 寸 時 〕	代 表 箇 所 各 1 枚	10-5-6-2
					製 作 状 況	適 宜 〔 製 作 中 〕			
					仮 組 立 寸 法 ( 撮 影 項 目 は 適 宜 )	1 橋 に 1 回 又 は 1 工 事 に 1 回 〔 仮 組 立 時 〕			
					幅 高 さ	桁 毎 に 1 回 〔 型 枠 取 外 し 後 〕			
10 道 路 編	6 ト ン ネ ル ( N A T M )	4 支 保 工	3		吹 付 工	岩 質	岩 質 の 変 わ る 毎 に 1 回 〔 掘 削 中 〕	代 表 箇 所 各 1 枚	10-6-4-3
					湧 水 状 況	適 宜 〔 掘 削 中 〕			
					吹 付 面 の 清 掃 状 況	80m 毎 に 1 回 〔 清 掃 後 〕			
					金 網 の 重 合 せ 状 況	80m 毎 に 1 回 〔 2 次 吹 付 前 〕			
					吹 付 け 厚 さ ( 検 測 孔 )	80m 毎 に 1 回 〔 吹 付 後 〕			

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M )	4 支 保 工	4		ロックボルト工	位置間隔 角度 削孔深さ 孔径 突出量	施工パターン毎又は80m に1断面〔穿孔中〕	代表箇所 各1枚	10-6-4-4
						ロックボルト注入 状況	施工パターン毎又は80m に1断面〔注入中〕		
						ロックボルト打設 後の状況	施工パターン毎又は80m に1断面〔打設後〕		
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M )	5 覆 工	3		覆工コンクリート工	覆工 (巻立空間)	1センチルに1回 〔型枠組立後〕	代表箇所 各1枚	10-6-5-3
						覆工 (厚さ)	1センチルに1回 〔型枠取外し後〕		
						幅 高さ	200m又は1施工箇所 に1回〔施工後〕		
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M )	5 覆 工	5		床版コンクリート工	幅 厚さ	200m又は1施工箇所 に1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	10-6-5-5
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M )	6 イン パ ー ト 工	4		インパート本体工	インパート (厚さ)	40m又は1施工箇所 に1回〔埋戻し前〕	代表箇所 各1枚	10-6-6-4
						幅(全幅)	200m又は1施工箇所 に1回〔施工後〕		
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M )	8 坑 門 工	4		坑門本体工	幅 高さ	1施工箇所に1回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各1枚	10-6-8-4
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M )	8 坑 門 工	5		明り巻工	覆工 (巻立空間)	40m又は1施工箇所 に1回〔型枠組立後〕	代表箇所 各1枚	10-6-8-5
						覆工 (厚さ)	40m又は1施工箇所 に1回〔型枠取外し後〕		
						幅(全幅) 高さ(内法)	200m又は1施工箇所 に1回〔施工後〕		

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
10	道路編	10	5		管路工(管路部)	敷設状況	100m又は1施工箇所 に1回〔敷設後〕	代表箇所 各1枚	10-10-5-2
10	道路編	10	5		プレキャストボックス工(特殊部)	据付状況	100m又は1施工箇所 に1回〔据付後〕	代表箇所 各1枚	10-10-5-3
10	道路編	10	5		現場打ちボックス工(特殊部)	厚さ 内空幅 内空高	100m又は1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	10-10-5-4
10	道路編	10	6		ハンドホール工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕	不要	10-10-6-2
10	道路編	11	3		切削オーバーレイ工	平坦性	1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	10-11-3-5
					タックコート	各層毎 に1回 〔散布時〕			
					整正状況	400m に1回 〔施工後〕			
10	道路編	11	3		路上再生工	敷均厚 転圧状況	各層毎400m に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	10-11-3-7
					整正状況 厚さ	各層毎400m に1回 〔整正後〕			
10	道路編	11	3		グレーピング工	出来ばえ	施工日に1回 (施工前後)	不要	10-11-3-11
10	道路編	12	3		桁補強材製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	10-12-3-4
					製作状況	適宜 〔製作中〕			
					仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕			
10	道路編	12	22		落橋防止装置工	長さ、径、材質	1橋に1回又は1工事に1回 (材料搬入時)	代表箇所 各1枚	10-12-22-4
					出来ばえ	適宜 (施工中)			

# 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第12編 下水道編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
12	下水道編	1	管路	3	管きよ工(開削)	3	管路土工	管路掘削	掘削状況	マンホール間ごとに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-3-3
12	下水道編	1	管路	3	管きよ工(開削)	3	管路土工	管路埋戻	埋戻状況	マンホール間ごとに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-3-3
12	下水道編	1	管路	3	管きよ工(開削)	4	管布設工	管布設 (自然流下管)	布設状況	マンホール間ごとに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-3-4
									中心線の変位 (水平)	マンホール間ごとに1回 [布設後]		
12	下水道編	1	管路	3	管きよ工(開削)	4	管布設工	圧送管	布設状	施工延長40mにつき1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-3-4
									中心線の変位 (水平)	施工延長40mにつき1回 [布設後]		
12	下水道編	1	管路	3	管きよ工(開削)	5	管基礎工	砂基礎	施工状況	マンホール間ごとに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-3-5
									幅	マンホール間ごとに1回 [施工後]		
									厚さ			
12	下水道編	1	管路	3	管きよ工(開削)	5	管基礎工	碎石基礎	施工状況	マンホール間ごとに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-3-5
									幅	マンホール間ごとに1回 [施工後]		
									厚さ			

【第12編 下水道編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
12 下水道編	1 管路	4,5 管きよ工 (小口径推進、 推進)	3 推進工		推進工	各種設備設置 撤去状況(推進 設備、掘進機、 坑口、泥水処理 設備等)	1施工箇所につき1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-4-3 12-1-5-3
						推進状況(掘 削、送排泥、裏 込注入等)	1施工箇所につき1回 [施工中]		
						中心線の変位 (水平)	1施工箇所につき1回 [推進後]		
12 下水道編	1 管路	4,5 管きよ工 (小口径推進、 推進)	4 立坑内管布設工		空伏工	施工状況	1施工箇所につき1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-4-4 12-1-5-4
						幅	1施工箇所につき1回 [施工後]		
						高さ 中心のずれ			
12 下水道編	1 管路	6 管きよ工 (シールド)	3 一次覆工		掘進工	各種設備設置 撤去状況(シー ルド機、支圧 壁、坑口、軌条 設備等)	1施工箇所につき1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-6-3
						セグメント組立状 況	施工延長40mにつき1回 [施工中]		
						推進状況(掘 削、送排泥、裏 込注入等)	1施工箇所につき1回 [掘進中]		
						中心線の変位 (水平)	施工延長40mにつき1回 [掘進後]		
12 下水道編	1 管路	6 管きよ工 (シールド)	4 二次覆工		二次覆工	各種設備設置 撤去状況	施工延長40mにつき1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-6-4
						覆工状況	施工延長40mにつき1回 [施工中]		
						中心線の変位 (水平)	施工延長40mにつき1回 [覆工後]		
						二次覆工厚 仕上がり内径			
12 下水道編	1 管路	8 マンホ ール工	3 現場打ちマン ホール工		標準マンホール工	据付状況	1施工箇所につき1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-8-3
						幅(内法)	1施工箇所につき1回 [施工後]		
						高さ			
						壁厚			



【第12編 下水道編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
12 下水道編	1 管路	8 マン ホール 工	3 現場 打ち マン ホール 工		マンホール基礎工	施工状況	1施工箇所1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-8-3
						基礎工幅	1施工箇所1回 [施工後]		
						基礎工高			
						コンクリート幅			
						コンクリート高			
12 下水道編	1 管路	8 マン ホール 工	4 組立 マン ホール 工		組立マンホール工	据付状況	1施工箇所1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-8-4
						高さ	1施工箇所1回 [施工後]		
12 下水道編	1 管路	8 マン ホール 工	5 小型 マン ホール 工		小型マンホール工	据付状況	1施工箇所1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-8-5
						高さ	1施工箇所1回 [施工後]		
12 下水道編	1 管路	9 特殊 マン ホール 工	4 軀 体 工		現場打ち特殊人孔	施工状況	1施工箇所1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-9-4
						幅	1施工箇所1回 [施工後]		
						高さ			
						壁厚			
12 下水道編	1 管路	10 取付 管お よび ます 工	4 ま す 設 置 工		公共ます	設置状況	1施工箇所1回 [設置中]	代表箇所 各1枚	12-1-10-4
12 下水道編	1 管路	10 取付 管お よび ます 工	5 取 付 管 布 設 工		取付管	布設状況	1施工箇所1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	12-1-10-5

【第16編 ほ場整備編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
16 ほ場整備編	1 ほ場整備	3 整地工	2		整地工 (表土扱い)  (基盤整地)  (表土整地)	表土厚	10a当たり1箇所[施工前・後]	各田区 各1枚	16-1-3-2
						基盤整地状況	10a当たり1箇所[施工中]		
						基土整地状況	10a当たり1箇所[施工中]		
16 ほ場整備編	1 ほ場整備	3 整地工	5		畦畔工	施工状況	施工延長200mに1箇所[施工中]	代表田区 各1枚	16-1-3-5
						仕上げ状況	施工延長200mに1箇所[仕上げ時]		
						高さ、幅	施工延長200mに1箇所[施工後]		
16 ほ場整備編	1 ほ場整備	3 整地工	6		田区進入路工	幅	10箇所に1箇所[施工後]	代表箇所 各1枚	16-1-3-6
16 ほ場整備編	1 ほ場整備	3 整地工	7		床版進入路工	幅、厚さ	10箇所に1箇所[施工後]	代表箇所 各1枚	16-1-3-7
16 ほ場整備編	4 耕作道路	3 耕作道路工	2		耕作道路工 (道路工)  (隅切工)  (路盤工)	敷均し厚さ、 転圧状況、  整正状況、	・幹線道路は50mに1箇所[施工中] ・支線道路は200mに1箇所[施工中] ・隅切工は、耕作道路1路線毎に1箇所[施工中]	代表箇所 各1枚	16-4-3-2
						厚さ、幅	・幹線道路は50mに1箇所[施工後] ・支線道路は200mに1箇所[施工後] ・隅切工は、耕作道路1路線毎に1箇所[施工後]		
16 ほ場整備編	5 暗渠排水	3 暗渠排水工	2		吸水渠工	・布設深、布設間隔 ・吸水渠、集水渠掘進断面(掘削深、掘削幅)吸水 管布設状況(掘削断面と同時でもよい)被覆(幅、厚さ、充填状況) ・水閘、立ち上り、継手類(接合、布設状況) ・埋戻、残土処理、石礫等の処理状況 ・使用材料の搬入状況	・3田区に1区間[施工中・後] ただし、全体施工面積の1/3を下回らない。 ・吸水渠は路線毎に上、下流端及び中間点[施工中・後] ・集水渠は1箇所[施工中・後] ・水閘、立ち上りは1箇所[施工中・後]	3田区で 各1枚	16-5-3-2 16-5-3-3
16 ほ場整備編	5 暗渠排水	3 暗渠排水工	3		集水渠工				

【第17編 農用地造成編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
17	1	4	3	4	基盤工	法勾配、幅	テラス延長100m～200mにつき1ヶ所[施工後]	代表箇所各1枚	17-1-4-3
			4	2	テラス(階段畑)	耕起幅	上記未満は2ヶ所[施工後]		17-1-4-4
17	1	4	3	4	基盤工	基準高、法勾配	測定点2～3ヶ所につき1ヶ所[施工後]	代表箇所各1枚	17-1-4-3
			4	2	(改良山成玉)				17-1-4-4
17	1	6	2	2	耕起工	耕起状況	おおむね1ha当たり2ヶ所[施工中]	代表箇所各1枚	17-1-6-2
						耕起深	おおむね1ha当たり2～3ヶ所[施工後]		
						つぼ掘り	2ha当たり1ヶ所[施工後]		
17	1	6	2	3	土壤改良材散布工	サンプル採取中及び試験中の箇所	おおむね2ha当たり1箇所[施工中]	代表箇所各1枚	17-1-6-2
17	4	6	2	4	碎土工	碎土厚	おおむね1ha当たり2箇所[施工後]	代表箇所各1枚	17-1-6-2
						つぼ掘り	2ha当たり1箇所[施工後]		
17	1	7			道路工 (耕作道)	法勾配、幅、厚さ、側溝幅	施工延長おおむね100～200mに1ヶ所[施工後]	代表箇所各1枚	17-1-7

【第19編 開水路・排水路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
19	1	3	3		現場打ちコンクリート水路工	打継目処理状況	2スパンに1箇所[施工中]	代表箇所各1枚	19-1-3-3
						幅、高さ、厚さ、配筋	2スパンに1箇所[施工後]		
19	1	3	4		二次製品水路工(L型、大型水路)	(コンクリート二次製品大型フリューム水路) 布設状況	施工延長50mに1箇所[施工後] 上記未満は2箇所[施工後]	代表箇所各1枚	19-1-3-4
						(鉄筋コンクリートL型水路) 布設状況、厚さ、幅	施工延長50mに1箇所[施工後] 上記未満は2箇所[施工後]		

【第21編 管路・畑かん施設編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
21	1	4	2		砂基礎	基礎、埋戻の厚さ、幅、敷均し、締固め状況	施工延長50mに1ヶ所[施工中・施工後] 上記未满是2ヶ所[施工中・施工後]	代表箇所各1枚	21-1-4-2
					コンクリート基礎工	幅、厚さ	施工延長50mに1ヶ所[施工後] 上記未满是2ヶ所[施工後]	代表箇所各1枚	21-1-4-3
21	1	5	2		硬質塩化ビニル管工	管布設状況	施工延長50mに1ヶ所[施工中]	代表箇所各1枚	21-1-5-2
					強化プラスチック複合管工		上記未满是2ヶ所[施工中]		21-1-5-3
					ダクタイル鋳鉄管工	ジョイント関係	施工延長50mに1ヶ所[施工後] 上記未满是2ヶ所[施工後]	代表箇所各1枚	21-1-5-4
21	1	7	4		散水器具工 (スプリンクラー)	埋設深	1ha当たり1ヶ所[施工後]	代表箇所各1枚	21-1-7-4

【第24編 ため池編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
24 ため池編	1 ため池	4 堤体工			堤体工	敷均し厚さ、 転圧状況	施工延長20mに1箇所[施工中]	代表箇所 各1枚	24-1-4
						堤幅、法長、 法勾配	施工延長20mに1箇所[施工後]		
24 ため池編	1 ため池	7 洪水吐工	2		洪水吐工	打継目処理状況	・2スパンに1箇所[施工中]  ・箇所単位の構造物は適宜[施工中]	代表箇所 各1枚	24-1-7-2
						床掘、基礎、幅、 高さ、厚さ、配筋	・2スパンに1箇所[施工後]  ・箇所単位の構造物は適宜[施工後]		
24 ため池編	1 ため池	8 取水施設工	2		取水施設(樋管工)	打継目処理状況	・施工延長10mに1箇所[施工中]  ・箇所単位の構造物は適宜[施工中]	代表箇所 各1枚	24-1-8-2
						床掘、基礎、幅、 高さ、厚さ、配筋	・施工延長10mに1箇所[施工後]  ・箇所単位の構造物は適宜[施工後]		
24 ため池編	1 ため池	8 取水施設工	3		ゲート製作据付工 (土砂吐ゲート等)	床掘、基礎、幅、 高さ、厚さ、配筋	・施工延長10mに1箇所[施工後]  ・箇所単位の構造物は適宜[施工後]	代表箇所 各1枚	24-1-8-3
									24-1-8-4
									24-1-8-5

【第26編 林道編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
26 林道編	1 開設	5 路盤工	3 上置工・ 下置工		上置工	厚さ、幅	100m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	26-1-5-3

【第27編 治山編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
27 治山編	1 治山ダム	3 コンクリート治山ダム工	4		コンクリート治山ダム本 体工	打継目処理 打込・養生	リフト毎に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	27-1-3-4
						天端幅 堤幅 水通しの幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕		
27 治山編	1 治山ダム	5 木製治山ダム工	5		木製治山ダム本 体工	組立状況 詰石状況	堤高中間付近で1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	27-1-5-5
						天端幅 堤幅 水通しの幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕		
27 治山編	2 護岸、 流路	3 護岸工	6		木製護岸工	幅	200m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	27-2-3-6
						高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		
27 治山編	2 護岸、 流路	4 流路工	6		木製流路工	幅 高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	27-2-4-6
27 治山編	3 山腹	4 緑化工	2		柵工	杭木形状寸法	適宜 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	27-3-4-2
						高さ	適宜 〔施工後〕		
27 治山編	3 山腹	9 水路工	2		張芝水路工	幅 高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	27-3-9-2
27 治山編	3 山腹	14 なだれ 防止工	4		階段工	施工地遠景 (位置確認写真)	200m又は1施工箇所に1回 〔施工前後〕	代表箇所 施工 前後各1枚	27-3-14-4 平面図等へ撮 影位置記入
						作業中	200m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕		
						幅	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		



【第27編 治山編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
27 治山編	3 山腹	15 植栽工	2		植栽工	苗木(搬入数量、規格)	苗木搬入毎に1回 〔施工前〕	代表箇所 各1枚	27-3-15-2 平面図等へ撮影位置記入
						植穴の径、深さ、植付状況	300本に1回 〔施工中〕		
						仮植状況	適宜		
						施工地遠景	0.5ha又は1施工箇所毎に1回 〔施工後〕	施工箇所毎 各1枚	
						植付状況	1施工箇所・樹種毎に2回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
27 治山編	3 山腹	15 植栽工	3		追肥工	肥料(搬入量、空袋)	肥料搬入毎に1回 〔施工前後〕	代表箇所 施工 前後各1枚	27-3-15-3 平面図等へ撮影位置記入
						溝の位置、施肥量	100本に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
27 治山編	3 山腹	15 植栽工	4		補植工	苗木(搬入数量、規格)	苗木搬入毎に1回 〔施工前〕	代表箇所 各1枚	27-3-15-4 平面図等へ撮影位置記入
						施工地遠景	0.5ha又は1施工箇所毎に1回 〔施工前後〕	施工箇所毎施工 前後各1枚	
						施工地近景	300本に1回 〔施工前後〕	代表箇所 施工 前後各1枚	
						植穴の径、深さ、植付状況	300本に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						仮植状況	適宜		
27 治山編	5 森林整備	2 育成復層林誘導工	2		本数調整伐工	施工地遠景	0.5ha又は1施工箇所毎に1回 〔施工前後〕	施工箇所毎施工 前後各1枚	27-5-2-2 平面図等へ撮影位置記入
						施工地近景	1施工箇所・作業種毎に2回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						管理地全景	管理地毎に1回 〔施工前後〕	管理地毎 施工 前後各1枚	
						伐採木番号	番号100番に1回及び1番、最終番 〔施工後〕	1番及び最終番	
27 治山編	5 森林整備	2 育成復層林誘導工	3		枝落し工	施工地遠景	0.5ha又は1施工箇所毎に1回 〔施工前後〕	施工箇所毎施工 前後各1枚	27-5-2-3 平面図等へ撮影位置記入
						施工地近景	1施工箇所・作業種毎に2回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						枝落し高	1.0haに5回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
27 治山編	5 森林整備	3 育成復層林造成工	2		地拵え工	施工地遠景	0.5ha又は1施工箇所毎に1回 〔施工前後〕	施工箇所毎施工 前後各1枚	27-5-3-2 平面図等へ撮影位置記入
						施工地近景	1施工箇所・作業種毎に2回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
27 治山編	5 森林整備	5 保育工	2	1	下刈工(下刈工)	施工地遠景	0.5ha又は1施工箇所毎に1回 〔施工前後〕	施工箇所毎施工 前後各1枚	27-5-5-2 平面図等へ撮影位置記入
						施工地近景	1施工箇所・作業種毎に2回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	

【第27編 治山編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
27 治山編	5 森林整備	5 保育工	2	2	下刈工(クス枯殺工)	薬剤(搬入量、空袋)	薬剤搬入毎(こ1回〔施工前後〕)	代表箇所 施工前後各1枚	27-5-5-2 平面図等へ撮影位置記入
						施工地遠景	0.5ha又は1施工箇所(こ1回〔施工前後〕)	施工箇所毎施工前後各1枚	
						施工地近景	1施工箇所・作業種毎に2回〔施工中〕	代表箇所各1枚	
27 治山編	5 森林整備	5 保育工	3		除伐工	施工地遠景	0.5ha又は1施工箇所(こ1回〔施工前後〕)	施工箇所毎施工前後各1枚	27-5-5-3 平面図等へ撮影位置記入
						施工地近景	1施工箇所・作業種毎に2回〔施工中〕	代表箇所各1枚	
27 治山編	5 森林整備	5 保育工	7		雪起こし工	施工地遠景	0.5ha又は1施工箇所(こ1回〔施工前後〕)	施工箇所毎施工前後各1枚	27-5-5-7 平面図等へ撮影位置記入
						施工地近景	適宜〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						雪起こし状況	番号100番に1回及び1番、最終番〔施工後〕	1番及び最終番	
27 治山編	5 森林整備	7 作業歩道工	2		作業歩道工	施工地遠景	200m又は1施工箇所(こ1回〔施工前後〕)	施工箇所毎施工前後各1枚	27-5-7-2 平面図等へ撮影位置記入
						幅	200m又は1施工箇所(こ1回〔施工後〕)	代表箇所各1枚	

【第28編 その他編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
その他					舗装工関係 橋面防水工	塗布又は設置状況	1施工箇所1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	その他	
					ダム工関係 仮排水路	厚さ、高さ	100m又は1施工箇所1回 〔型枠取外し後〕	適宜	その他	
					ダム工関係 仮締切(土石)	巻出し厚	100m又は1施工箇所1回 〔巻出し時〕	適宜	その他	
						転圧状況	転圧機械が変わる毎に1回 〔締固時〕			
					仮締切(コンクリート)	厚さ、高さ	100m又は1施工箇所1回 〔型枠取外し後〕	適宜	その他	
					基礎掘削	組合せ機械	組合せ機械変わる毎に1回 〔施工中〕	適宜	その他	
						土質、岩質	土質、岩質変わる毎に1回 〔掘削中〕		その他	
						岩盤清掃状況	1施工箇所1回 〔清掃前後〕		その他	
					堤体コンクリート打設	骨材採取製造、コンクリート製造、運搬	月に1回〔施工中〕	適宜	その他	
						打継目処理、打込養生	8リフトに1回 〔施工中〕		その他	
					堤体止水	止水板の厚さ、幅、埋設位置、岩着及び溶接	各ブロック毎、先行ブロックについて4リフトに1回 〔据付後〕	適宜	その他	
					堤体排水工	排水孔の位置、箱抜断面、排水管取付箇所	各ブロック毎、先行ブロックについて4リフトに1回 〔据付後〕	適宜	その他	
					堤体冷却工	配管間隔、通水状況	5リフトに1回 〔据付後〕	適宜	その他	
					堤体埋設計器	器種、位置、間隔	1施工箇所1回 〔据付後〕	適宜	その他	
					トンネル関係 トンネル坑門工	トンネル(矢板工法)	厚さ、幅、高さ	1施工箇所1回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各1枚	その他
						トンネル(矢板工法)	岩質	岩質の変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	その他
							湧水状況	適宜〔掘削中〕		その他
							埋設支保工(建込間隔、寸法、基数)	100m又は1施工箇所1回 〔建込後〕		その他
						湧水処理工設置状況	全数量〔設置後〕		その他	

【第28編 その他編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
その他					トンネル(矢板工法)	集水渠(幅、高さ、位置)	100m又は1施工箇所(1回〔設置後])	代表箇所各1枚	その他	
						地下排水工(管接合据付状況)			その他	
						地下排水工(フィルター厚さ)	100m又は1施工箇所(1回〔投入前後])		代表箇所各1枚	その他
						矢板設置状況	岩質の変わる毎(1回〔設置後])			その他
						グラウト材料使用量	全数量〔使用前後〕			その他
					シールド	掘削の地山状態	地質の変化の毎(1回〔掘削中])	代表箇所各1枚	その他	
						セグメント組立状況	1工事に1回〔組立後〕		その他	
						二次覆工(セグメント清掃状況)	1工事に1回〔清掃後〕		その他	
						二次覆工の厚さ	1スパンに1回〔型枠取外し後〕		その他	
					維持修繕工関係	アスファルト舗装	打換パッチング	施工日に1回〔施工前後〕	不要	その他
						コンクリート舗装	目地掃除	3,000㎡に1回〔施工前後〕	不要	その他
							目地充填	3,000㎡に1回〔施工後〕		その他
							注入工、削孔状況(位置、間隔)	2,000㎡に1回〔削孔後〕		その他
							注入工、注入圧	2,000㎡に1回〔注入時〕		その他
							目地亀裂防止材、張付け状況	3,000㎡に1回〔張付け後〕		その他
						局部打換、各層厚さ	各層毎100mに1回又は1施工箇所(1回〔施工前後])	その他		
					路肩、路側路盤工	厚さ	100mに1回又は1施工箇所(1回〔施工後])	代表箇所各1枚	その他	
					道路除草	出来ばえ	5kmに1回(1回刈毎)〔施工前後〕	適宜	その他	
					路肩整正	出来ばえ	1kmに1回	適宜	その他	
					新設、更新、修理防護柵類	出来ばえ	1施工箇所(1回〔施工前は必要に応じて〕〔施工前後])	適宜	その他	

【第28編 その他編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
その他					維持修繕工関係 新設、更新、修理標識類	基礎幅、深さ、出来ばえ	基礎タイプ毎5カ所に1回(施工前は必要に応じて) 〔施工前後〕	適宜	その他	
					新設、更新、修理照明灯	基礎幅、深さ、出来ばえ	基礎タイプ毎5カ所に1回(施工前は必要に応じて) 〔施工前後〕	適宜	その他	
					視線誘導標	出来ばえ	施工日に1回 〔施工後〕	適宜	その他	
					清掃(路面、標識、側溝、集水柵)	出来ばえ	施工日に1回 〔施工前後〕	適宜	その他	
					区画線路面表示	出来ばえ	施工日に1回 〔施工前後〕	適宜	その他	
						材料使用量	全数量〔施工前後〕	適宜	その他	
					街路樹植樹	出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜	その他	
					街路樹補強補植	出来ばえ	適宜〔施工前後〕	適宜	その他	
					街路樹剪力	出来ばえ	街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回 〔施工前後〕	適宜	その他	
					街路樹消毒、施肥	出来ばえ	街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回 〔施工中〕	適宜	その他	
					街路樹雪囲	出来ばえ	適宜〔施工後〕	適宜	その他	
					排雪除雪	出来ばえ、機種	施工中に1回 施工中	適宜	その他	
					凍結防止剤散布	出来ばえ	施工中に1回 施工中	適宜	その他	
						材料使用量	全数量〔施工前後〕	適宜	その他	
					河川除草	出来ばえ	1kmに1回(1回刈毎) 〔施工前後〕	適宜	その他	
					応急措置	処理の状況	その都度〔施工前後〕	適宜	その他	
					鉄筋・無筋コンクリート関係	配筋	位置、間隔、継手寸法	打設ロット毎に1回又は1施工箇所 に1回 〔組立後〕	適宜	その他
						コンクリート打設	打継目処理、締固施工状況	工種種別毎に1回 〔施工時〕	1施工ブロック 各1枚	その他
						養生	養生状況	工種種別毎に1回、養生方法 毎に1回 〔養生時〕		その他

1. 共通仮設

1-1 汚濁防止膜工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. 水質汚濁防止膜	施工管理	取付け、組立て	取付け、組立状況	組立時、全体及び部分	不要	カーテンの接続、アンカー等の取付状況が判明できるように撮影 作業状況が判明できるように使用船舶機械を配慮し撮影
		設置 撤去	設置状況 撤去状況	設置時 撤去時		
	品質管理	カーテンの種類、形状	カーテン	組立時、種類及び形状毎	不要	カーテンの種類、規格、形状等が判明できるように撮影 アンカー、フロート、ワイヤー等の規格形状等が判明できるように撮影
		汚濁防止膜の構造	アンカー、フロート、ワイヤー等	組立時、種類及び形状毎		
出来形管理	設置位置	設置状況	設置完了後	代表箇所 各1枚	正面、側面等全体の設置状況が判明できるように撮影	

2. 無筋・鉄筋コンクリート

2-1 レディーミクストコンクリート

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
	施工管理	材料の貯蔵	セメント、混和材料及び骨材の貯蔵状況	貯蔵時	不要	但し、JISマーク表示認証工場の場合は省略。
		プラントの設備	全景及び細部	施工時		
		材料の計量及び練混ぜ	計量及び練混ぜ状況	施工時		

2-2 コンクリートミキサー船

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
	施工管理	材料の貯蔵	セメント、混和材料及び骨材の貯蔵状況	貯蔵時	不要	
		プラントの設備	全景及び細部	施工時		
		材料の計量及び練混ぜ	計量及び練混ぜ状況	施工時		

2-3 現場練りコンクリート

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
	施工管理	材料の貯蔵	セメント、混和材料及び骨材の貯蔵状況	貯蔵時	不要	
		プラントの設備	全景及び細部	施工時		
		材料の計量及び練混ぜ	計量及び練混ぜ状況	施工時		

2-4 運搬打設工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
	施工管理	準備	打設準備	打設前	不要	打設面の不純物除去、散水状況等を撮影 但し、JISマーク表示認証工場の場合は省略 ポンプ、スキップ、シュート、コンベア等の打設方法及び打込状態、締固状態等を撮影 レイタンス除去状況を撮影 天端均し仕上げ状況を撮影 打設後（底版、打継各層、天端）の養生状況を撮影
		運搬	コンクリートの運搬状	運搬時		
		打設	コンクリート打設	打設時		
		打継目	レイタンス除去状況	施工時		
		表面仕上げ	仕上げ状況	表面仕上げ時		
		養生	養生	養生時		

2-5 暑中コンクリート

工 種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
	施工管理	施工状況	セメント、骨材、水の温度の管理状況	測定時	不要	2-1レディーミストコンクリートの関連事項を適用する。  コンクリートの温度保護を必要とした場合
			打設面の状況	打設直前		
			打設状況 打設中及び打設完了後の保護状況	運搬装置、防護処置等 打設時及び施工完了時		

2-6 寒中コンクリート

工 種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
	施工管理	施工状況	セメント、骨材、水の温度の管理状況	測定時	不要	2-1レディーミストコンクリートの関連事項を適用する。  コンクリートの温度保護を必要とした場合
			打設面の状況	打設直前		
			打設状況 打設中及び打設完了後の保護状況	運搬装置、防護処置等 打設時及び施工完了時		

2-7 コンクリートの品質管理

工 種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
	品質管理	試験練り	試験状況、供試体作成及び養生状況	試験時、養生時	不要	ただし、JISマーク表示認証工場の場合は省略  設計基準強度の撮影は $\sigma_{28}$ のみとする。
		強度試験	試験状況	試験時		
		現場試験	スランプ、空気量、温度測定状況	供試体作成時		

2-8 鉄筋工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
	施工管理	棒 鋼 鉄 筋	保管状況	荷降し後	不要	まくら木の配置、覆いの状態等を撮影 まくら木の配置、覆いの状態等を撮影 組立て、結束状態が確認できるように撮影
			保管状況	加工後		
			組立て及び結束	組立時		
			吊 筋	取付後		

2-9 型枠及び支保工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
	施工管理	型 枠	製作及び大組製作の状況	製作時	不要	内枠、外枠、隔壁の取外し状況を撮影
			組立状況	組立時		
			取外し状況	取外し時		
			型枠清掃状況	清掃時		

2-10 水中コンクリート

工 種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
	施工管理	打 設 打設用機械器具等	打設状況	施工時	不要	2-1レディーミクストコンクリート、2-2コンクリートミキサー船、2-3現場練りコンクリート、2-4運搬打設工及び2-9型枠及び支保工の関連事項を適用する。
	出来形管理	出来形の確認	出来形寸法等の測定状況	出来形測定時		

2-11 袋詰コンクリート

工 種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
	施工管理	使用船舶機械等	使用船舶、機械等	施工時	不要	2-1レディーミクストコンクリート、2-2コンクリートミキサー船、2-3現場練りコンクリート、2-4運搬打設工、2-9型枠及び支保工及び2-10水中コンクリートの関連事項を適用する。
		袋 詰	コンクリート袋詰状況	施工時		
		設 置	設置状況	施工時		
出来形管理	出来形の確認	出来形寸法等の測定状況、設置（積上）状態	出来形測定時	代表箇所 各1枚		

2-12 水中不分離性コンクリート

工 種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
	施工管理	打 設 打設用機械器具等	打設状況	施工時	不要	2-1レディーミクストコンクリート、2-2コンクリートミキサー船、2-3現場練りコンクリート、2-8鉄筋工及び2-9型枠及び支保工の関連事項を適用する。 トレミー、コンクリートポンプ等
			打設状況	施工時		
	品質管理	各種試験	スランプフロー、圧縮強度、懸濁物質等の試験状況	試験時	不要	
出来形管理	出来形の確認	出来形寸法等の測定状況	出来形測定時	代表箇所 各1枚		



2-13 プレパックドコンクリート

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
施工管理	型枠状況一般 骨材の投入 プラントの設備	型枠組立て、建込状況	施工時	不要	2-1レディーミクストコンクリート、2-2コンクリートミキサー船、2-3現場練りコンクリート、2-4運搬打設工、2-8鉄筋工及び2-9型枠及び支保工の関連事項を適用する。 配置間隔が判明できるようにテープ等を同時撮影 注入の状態が判明できるように全景を撮影	
		骨材洗浄、投入状況	施工時			
		設備の全景及び細部	施工時			
	注入管及び検査管 モルタル注入	管の配置状況 注入状況	モルタル注入前 注入時			
品質管理	各種試験	圧縮強度、フロー値、膨張率、ブリーディング率等の試験状況	試験時	不要		
出来形管理	出来形の確認	出来形寸法等の測定状況、岩盤かき均し状況等	測定時	代表箇所 各1枚		

3. 一般施工

3-1 共通の工種

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明	
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度		
1. 排砂管設備工	施工管理	排砂管設備	排砂管、零号等設置撤	布設撤去の作業時	不要	設置状況が判明できるように撮影	
1) 排砂管設備							
2. 土運船運搬工	施工管理	土砂の運搬状況	運搬時積載状況	土砂運搬時	不要	運搬経路が判明できる背景を入れて撮影	
1) 土運船運搬							
3. 揚土土捨工	施工管理	使用船舶機械等	作業現場	現地搬入前又は現地搬入時	不要	全景及び数量が判明できるように撮影  〈特〉の内容に対応させる。	
1) バージアンローダー揚土							
2) 空気圧送揚土							
3) リクレーマ揚土 4) バックホウ揚土							
4. 圧密・排水工	施工管理	使用船舶機器等	杭打船舶機械	組立完了後船舶機械毎打設時	不要		
							1) サンドドレーン【海上】
品質管理	材料の確認	記録計器 測量槽等 砂運搬船舶機械 材 料	打設時 測量中、槽等毎 運搬中 現場搬入時（種類、品質及び形状寸法の異なる毎）	試験時	不要		
							品質試験状況

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
【陸上】	施工管理	使用施工機械	クローラクレーン	現場搬入時、組立時、機械毎	不要	全景
		その他	発動発電機	現場搬入時、組立時、機械毎		全景
	品質管理	施工状況 材料の確認	作業状況 品質試験状況 材料置場	施工時 試験時 現場搬入時	不要	全景 全景 全景
2) 敷砂 3) 敷砂均し	施工管理	使用船舶機械等	運搬船舶機械 均し船舶機械	投入時 均し作業時	不要	全景が判明できるように撮影 均し用具は、作業前に撮影
		その他	海洋汚染防止対策 飛砂防止対策	対策を講じた時		
	品質管理	材料の確認	材 料	現場搬入時（種類、品質及び形状寸法の異なる毎）	不要	
			品質試験状況	試験時		
4) 載荷土砂	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	全景については、位置が判明できる背景を入れる。
	施工管理	使用船舶機械等	砂運搬船、機械 排砂管設備	運搬時、船舶機械毎 敷設時 排砂中	不要	
	品質管理	材料の確認	その他	海洋汚染防止対策 材 料	不要	
			品質試験状況	試験時		
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	全景については、位置が判明できる背景を入れる。
5) ペーパードレーン						3-1-4 圧密・排水工 1) サンドドレーンを適用する。
6) グラベルマット	施工管理	使用船舶機械等	運搬及び均し（船舶） 機械	施工時	不要	全景が判明できるように撮影 均し用具は、作業前に撮影
		施工状況	砕石投入状況 砕石均し状況	投入時、規格毎及び作業機械・船種毎 規格及び作業機械・船種毎		
	品質管理	材料の確認	その他	海洋汚染防止対策 材 料	不要	
			品質試験状況	試験時		
7) グラベルドレーン	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	全景については、位置が判明できる背景を入れる。
	施工管理	使用施工機械	クローラクレーン	現場搬入時、組立時、機械毎	不要	
	品質管理	材料の確認	その他	アースオーガマシ、 リーダーオーガ、発動 発電機、コンプレッ サ、トラクターショベル	不要	全景 全景 全景
			施工状況	作業状況		
	品質管理	材料の確認	品質試験状況 材料置場	試験時 現場搬入時	不要	全景 全景 全景

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明	
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度		
5. 締固工							
1) ロッドコンパクション	施工管理	使用施工機械	振動体（パイプロ）	現場搬入時、組立時、機械毎	不要	全 景	
		その他	ロッド、リーダー、トラクターショベル、発動発電機、ショベルローダー	現場搬入時、組立時、機械毎		全 景	
		施工状況	作業状況	施工時		全 景	
	品質管理	材料の確認	品質試験状況 材料置場	試験時 現場搬入時	不要	全 景 全 景	
2) サンドコンパクションパイル【海上】	施工管理	使用船舶機器等	杭打船舶機械	組立完了後船舶機械毎打設時	不要		
			記録計器	打設時			
			測量槽等	測量中、槽等毎			
	品質管理	材料の確認	砂運搬船舶機械 材 料	運搬中 現場搬入時（種類、品質及び形状寸法の異なる毎）	不要		
【陸上】	施工管理	使用施工機械	クローラクレーン	現場搬入時、組立時、機械毎	不要	全 景	
			その他	リーダー、発動発電機、コンプレッサ、トラクターショベル		現場搬入時、組立時、機械毎	全 景
			施工状況	施工時		全 景	
	品質管理	材料の確認	材料置場 品質試験状況	現場搬入時 試験時	不要	全 景 全 景	
3) 盛上土砂撤去	施工管理	使用船舶機械等	使用船舶、機械等	施工時	不要	使用機械器具が判明できるように撮影	
		施工状況	撤去状況	撤去中			
	出来形管理	その他 出来形の確認	海洋汚染防止対策 測定状況	対策を講じた時 測定時	代表箇所 各1枚		
4) 敷 砂						3-1-4 圧密・排水工 2) 敷砂、3) 敷砂均しを適用する。	
5) 敷砂均し							
6. 固化工							
1) 深層混合処理杭	施工管理	使用船舶機器等	改良船、材料運搬船、潜水土船、引船、揚錨船	搬入時、船舶機械毎	不要		
			施工状況	測量槽設置、撤去状況		測量槽設置時、改良船位誘導時	
			障害物撤去状況	障害物調査、撤去時			
	品質管理	材料の確認	改良杭打設状況 海洋汚染防止対策 改良船計器類 代表的計器	試験杭打時、施工時 対策を講じた時 計測時			
			固化材料	現場搬入時、材料毎	不要		
			品質管理試験状況	試験時、試験種類毎			

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
2) 盛上土砂撤去						3-1-5締固工 3) 盛上土砂撤去を適用する。
3) 敷 砂						3-1-4圧密・排水工 2) 敷砂、3) 敷砂均しを適用する。
4) 敷砂均し						
5) 事前混合処理	施工管理	使用船舶機器等	主要船舶機械	搬入時、船舶機械毎	不要	使用する船舶機械の種類が判明できるように撮影
		材料の貯蔵	貯蔵状況	貯蔵時		
		プラントの設備	全景及び細部	施工時		
		施工状況	混合処理状況	混合作業時		
			処理土運搬状況	運搬時		
			処理土投入状況	投入時		
	品質管理	材料の確認	固化材料	現場搬入時、材料毎	不要	
			品質管理試験状況	試験時、試験種類毎		
6) 表層固化処理	施工管理	使用船舶機器等	主要船舶機械	搬入時、船舶機械毎	不要	使用する船舶機械の種類が判明できるように撮影
		材料の貯蔵	貯蔵状況	貯蔵時		
		プラントの設備	全景及び細部	施工時		
		施工状況	配合状況	施工時		
			固化処理状況	施工時		
			配合状況	施工時		
	品質管理	材料の確認	固化材料	現場搬入時、材料毎	不要	
			配合試験状況	試験時		
			品質管理試験状況	試験時、試験種類毎		
7. 洗掘防止工						
1) 洗掘防止	施工管理	マット類の確認	補強材セット状況	施工時	不要	作業状況が判明できるように撮影
			アスファルトコンクリート打設状況	アスファルトコンクリート打設時		
			搬入仮置	搬入仮置時		
			アンカー取付け、加工	取付加工時		
			運 搬	運搬時		
			敷設状況	敷設状況と使用船舶機械	敷設時	
	出来形管理	出来形の確認	敷設位置、重ね幅、延長及びジョイントの確認	敷設完了時	代表箇所 各1枚	確認箇所が判る背景を入れる。
8. 中詰工						
1) 砂・石材中詰	施工管理	使用船舶機械等	運搬船等	施工時	不要	作業状況が判明できるように撮影
		投 入	投入状況	施工時		
		均 し	均し状況	施工時		
		締固め	締固め状況	施工時		
	品質管理	品質試験	品質試験状況	試験項目毎	不要	
		材料の確認	材料及び作業船等	搬入時に適宜		テープ等を同時撮影
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	均し完了後	代表箇所 各1枚	中詰材の天端とケーソン天端との高低差が判明できるようにテープ等を同時撮影

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
2) コンクリート中詰						2. 無筋・鉄筋コンクリートの関連事項及び3-1-8中詰工 1) 砂・石材中詰を適用する。
3) プレパックドコンクリート中詰						2. 無筋・鉄筋コンクリートの関連事項及び3-1-8中詰工 1) 砂・石材中詰を適用する。
9. 蓋コンクリート工						
1) 蓋コンクリート	施工管理	使用船舶機械等	コンクリートミキサー船及び付属船	コンクリート打設前	不要	・コンクリートミキサー船及び付属船の形状が判るように前方、側面からそれぞれ撮影 ・作業状況が判明できるように撮影
		ルーフィング敷設	中詰上面	コンクリート打設前		
	品質管理 出来形管理	出来形の確認	測定状況	打設完了後	不要 代表箇所 各1枚	2-7コンクリートの品質管理を適用する。 蓋コンクリートの施工天端とケーソン又はセルラーブロックの天端との差が判明できるようにテープ等を同時撮影
10. 蓋ブロック工						
1) 蓋ブロック製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	不要	3-5-1ケーソン製作工の関連事項を適用する。
		使用船舶機械等 函 台	クレーン等 製作函台	施工時 着工時		
	品質管理 出来形管理	鉄筋 型 枠 コンクリート 完 成	組立てかぶり 組立完了 形状寸法、外観 完成品	組立完了時 組立確認時 打設後 完成時	不要 代表箇所 各1枚	2-7コンクリートの品質管理を適用する。 3-5-1ケーソン製作工の関連事項を適用する。  番号等を入れて撮影 個数が確認できれば1枚に複数枚入れて撮影（全個数確認必要枚数撮影） 積重ね段数が判明できるように撮影 使用する船舶機械等が判明できるように撮影 据付作業が判明できるように撮影
2) 蓋ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等 据付作業	起重機船、台船等 据付作業状況	仮置時 施工時 据付時	不要	積重ね段数が判明できるように撮影 使用する船舶機械等が判明できるように撮影 据付作業が判明できるように撮影
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	仮置時 測定時		
3) 間詰コンクリート	施工管理	使用船舶機械等	コンクリートミキサー船及び付属船	コンクリート打設前	不要	3-1-9蓋コンクリート工の関連事項を適用する。
		ルーフィング敷設	中詰上面	コンクリート打設前		
	品質管理				不要	2-7コンクリートの品質管理を適用する。
11. 鋼矢板工						
1) 先行掘削	施工管理	掘 削	掘削状況	施工時	不要	
2) 鋼矢板	施工管理	矢板の保管	保管状況	保管時	不要	全景及びまくら木、くさび等の変形、転落防止措置を撮影 使用機械器具、積込方法が判明できるように撮影 荷くずれ防止措置、台船への積載状況、使用船舶機械等が判明できるように撮影
		矢板の積込み	吊上げ及び積込状況	施工時		
		矢板の運搬	運搬状況	施工時		
		導材の設置	導材の設置状況	施工時		

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明	
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度		
2) 鋼矢板	施工管理	矢板の建込み	建込状況（位置出し、吊込み、建込み等）	施工時		作業状況が判明できるように撮影	
		矢板の打込み	打込状況	施工時		杭打船等の全景、打込み方法、順序等が判明できるように撮影	
			ハンマーの種類、型式等	適 宜			
			打込記録中	測定時			
継ぎ手部の離脱	飛油、騒音防止対策 離脱箇所	対策を講じた時 離脱が有った時		飛油対策、騒音防止対策等を行った場合 離脱部の状況が判明できるように撮影すること。			
	品質管理	矢板の規格、外観、形状寸法	観察、測定状況	観察、測定時	不要	種類、形状寸法が変る毎にテープ等を同時撮影	
	出来形管理	出来形の確認	測定作業状況	施工時及び打込完了時	代表箇所 各1枚		
12. 控 工							
1) 控鋼矢板 2) 控鋼管 3) 腹 起 4) タイ材	施工管理	腹起しの取付け	取付け及び締付状況	施工時及び完了時	不要		
		タイロッド受杭					3-1-11鋼矢板工を適用する。
		タイロッド、タイワイヤーの組立て、取付け、プレキャストコンクリート控壁控杭、控矢板、控頂部コンクリート、場所打コンクリート控壁	組立て及び取付状況	施工時			3-1-11鋼矢板工を適用する。 3-6本土工（ブロック式）を適用する。 3-14-1上部コンクリート工を適用する。
	品質管理	腹起し材、タイロッド、タイワイヤーの規格、外観、形状寸法	観察、測定状況	観察、測定時	不要	種類、形状寸法が変る毎にテープ等を同時撮影	
		タイロッド、タイワイヤーの試験杭、矢板の品質、コンクリートの品質	引張試験の状況	試験時		3-1-11鋼矢板工を適用する。 3-14-1上部コンクリート工を適用する。	
	出来形管理	出来形の確認	測定状況、完成状況	施工時及び取付完了時	代表箇所 各1枚		

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
13. 鋼杭工						
1) 先行掘削						3-1-11鋼矢板工 1) 先行掘削を適用する。
2) 鋼杭	施工管理	杭の保管	保管状況	保管時	不要	全景及びまくら木、くさび等の変形、転落防止措置を撮影
		杭の積込み	吊上げ及び積込状況	施工時		使用機械器具、積込方法が判明できるように撮影
		杭の運搬	運搬状況	施工時		荷くずれ防止措置、台船への積載状況、使用船舶機械等が判明できるように撮影
		導材の設置	導材の設置状況	施工時		使用材料及び船舶機械、導材の構造が判明できるように撮影
		杭の建込み	建込状況（位置出し、吊込み、建込み等）	施工時		作業状況が判明できるように撮影
		杭の打込み	打込状況 ハンマーの種類、型式等	施工時 適宜		杭打船等の全景、打込み方法、順序等が判明できるように撮影
			打込記録中	測定時		
	品質管理	杭の規格、外観、形状寸法	飛油、騒音防止対策 観察、測定状況	対策を講じた時 観察、測定時	不要	飛油対策、騒音防止対策等を行った場合 種類、形状寸法が変る毎にテープ等を同時撮影
	出来形管理	出来形の確認	測定作業状況	施工時及び打込完了時	代表箇所 各1枚	
14. コンクリート杭工						
1) コンクリート杭						3-1-13鋼杭工 2) 鋼杭を適用する。
15. 防食工						
1) 電気防食	施工管理	使用船舶機械等	曳船、台船、潜水士船、溶接機等	取付時	不要	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		製品（陽極）	取付陽極	取付前		取付陽極の部分（1組）及び取付陽極全体
		取付け（陽極）	取付状況	取付時		取付状況（水中写真）
		（電位測定装置）	設置状況	取付時		測定用端子の設置状況
	品質管理	形状寸法	測定状況	測定時	不要	
	出来形管理	出来形の確認 （陽極）	取付完了状態	取付完了時	代表箇所 各1枚	潜水士船又は潜水士による確認検査状況
		（電位測定装置）	電位測定	測定時		電位差測定の状態
2) FRPモルタル被覆	施工管理	使用船舶機械等	曳船、台船、潜水士船、溶接機等	取付時	不要	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		施工状況	モルタル注入	施工時		
		製品（FRP）		取付前、取付後		
		施工状況	設置状況	取付時		FRP被覆材の設置状況
	品質管理	形状寸法	測定状況	測定時	不要	
	出来形管理	出来形の確認	被覆防食完了状態	取付完了時	代表箇所 各1枚	完了の部分（1箇所）及び正面全体と延長方向を撮影
（素地調整）	施工管理	使用機械	コンプレッサー、ケレン工具等	施工時	不要	使用機械器具が判明できるように撮影
		施工状況	作業状況	施工時		
	出来形管理	完成	完成全景	完成時	代表箇所 各1枚	

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
(モルタル工)	施工管理	使用機械	モルタルポンプ、発電機等	施工時	不要	使用機械器具が判明できるように撮影
	出来形管理	施工状況 出来形の確認 完 成	作業状況 測定状況 完成全景	施工時 測定時 完成時	代表箇所 各1枚	
3) ペトララタム被覆	施工管理	使用船舶機械等	曳船、台船、潜水士船、溶接機等	取付時	不要	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		製品 (FRP等)		取付前、取付後		
	品質管理	施工状況	設置状況	取付時	不要	
	出来形管理	形状寸法 出来形の確認 (陽極) (電位測定装置)	測定状況 取付被覆防食完了状態	測定時 取付完了時	代表箇所 各1枚	完了の部分 (1箇所) 及び正面全体と延長方向を撮影 電位差測定の状態
(素地調整)	施工管理	使用機械	コンプレッサー、ケレン工具等	施工時	不要	使用機械器具が判明できるように撮影
	出来形管理	施工状況 完 成	作業状況 完成全景	施工時 完成時	代表箇所 各1枚	
(防食工)	施工管理	使用機械	取付用工具	施工時	不要	使用機械器具が判明できるように撮影
	出来形管理	施工状況 出来形の確認 完 成	作業状況 測定状況 完成全景	施工時 測定時 完成時	代表箇所 各1枚	
4) コンクリート被覆	施工管理	使用船舶機械等	曳船、台船、潜水士船、溶接機等	施工時	不要	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
	出来形管理	被覆防食の作業状況 出来形の確認	施工状況 被覆防食完了状態	施工時 完了時	代表箇所 各1枚	
5) 防食塗装	施工管理	使用船舶機械等	曳船、台船、潜水士船、溶接機等	施工時	不要	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
	出来形管理	塗 装 出来形の確認	施工状況 塗装完了状態	施工時、各層毎 完了時	代表箇所 各1枚	
16. 路床工						
1) 不陸整正	施工管理	路 床	施工状況	施工時	不要	
17. コンクリート舗装工						
1) 下層路盤 2) 上層路盤	施工管理	路 盤	路盤材料均し、転圧、締固め	上層、下層作業中	不要	
	品質管理	材料の確認	試験及び検査	試験及び検査時	不要	主要資材については〈品〉の項目による試験及び検査の状況が判明できるように撮影
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	路盤の厚さが判明できるように撮影



工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明	
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度		
3)コンクリート舗装 4)目地 5)小口止め	施工管理	コンクリート舗装、目地	型枠据付時の路盤確認	施工時	不要	各作業が判明できるように撮影	
			型枠組立て、組外し				
			コンクリート運搬及び打設				
	締固め及び表面仕上げ	施工時	代表箇所 各1枚	各作業が判明できるように撮影			
ダウエルバー、タイバー、目地材及び鉄網の設置							
	養生	養生					
	品質管理	小口止め 材料の確認	施工状況 試験及び検査	施工時 試験及び検査時	不要	各作業が判明できるように撮影 主要資材については〈品〉の項目による試験及び検査の状況が判明できるように撮影 2-7コンクリートの品質管理を適用する。	
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	コンクリート舗装の鉄網、目地及び舗設厚さが判明できるように撮影	
18. アスファルト舗装工							
1)下層路盤						3-1-17コンクリート舗装工 1)下層路盤、2)上層路盤を適用する。	
2)上層路盤							
3)基層 4)表層	施工管理	基層、表層	型枠組立て	施工時	不要	各作業が判明できるように撮影	
			タックコート、プライムコート散布				
	品質管理	材料の確認	舗設、締固め 試験及び検査	試験及び検査時	不要	主要資材については〈品〉の項目による試験及び検査の状況が判明できるように撮影	
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	舗設厚さが判明できるように撮影	
19. 植生工							
1)張芝 2)筋芝	施工管理	使用機械器具等	転圧機械、打固め器具等	搬入時	不要	使用機器の規格、形状等が判明できるように撮影	
		施工状況	材料の管理	土の敷均し、肥料の散布		施工時	材料の管理状況が判明できるように撮影
				状況		施工時	土の敷均し厚、肥料の散布状況が判明できるように撮影
	品質管理	使用材料	芝の張付け	施工時	剥離しやすい箇所の固定、ローラ等による鎮圧状況が判明できるように撮影		
出来形管理	植生状況	土、芝、肥料	搬入時	不要	芝、肥料の種類、土の性状等が判明できるように撮影		
		施工前区域	施工前、全体区域及び部分	施工前、全体区域及び部分	代表箇所 各1枚	全体区域、部分的に施工前及び完成の状況が判明できるように撮影	
		完成区域	施工完了後、全体区域及び部分	施工完了後、全体区域及び部分			

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
3) 播 種 4) 種子吹付	施工管理	使用機械器具等	整地、鎮圧、散布機械等	搬入時	不要	使用機器の規格、形状等が判明できるように撮影
		施工状況	材料の管理 種子の播き付け、土の敷均し等	施工時 施工時、工程毎		材料の管理状況が判明できるように撮影 作業状況が判明できるように撮影
	品質管理	使用材料	土、種子、肥料、土壌改良剤、養生剤等	搬入時	不要	種子、肥料等材料の種類、品質が判明できるように撮影
	出来形管理	植生状況	施工前区域	施工前、全体区域及び部分	代表箇所 各1部	全体区域、部分的に施工前及び完成の状況が判明できるように撮影 全体区域、部分的に施工前及び完成の状況が判明できるように撮影
完成区域			施工完了後、全体区域及び部分			
5) 植 栽	施工管理	使用機械器具等	掘削機械、締固め器具	搬入時	不要	使用機器の規格、形状が判明できるように撮影
		施工状況	運搬機械、材料管理	施工前		材料の管理状況が判明できるように撮影
			土の敷均し、肥料の散布状況	施工時、工程毎		土の敷均し、肥料の散布状況が判明できるように撮影
	品質管理	使用材料	根回し、運搬、植穴、植付け、名札等の状況	搬入時 搬入時、種類毎	不要	植樹の施工状況が判明できるように撮影 土の性状、肥料の種類が判明できるように撮影
出来形管理	植樹状況	樹 木	施工前、全体区域及び部分 施工完了後、全体区域及び部分	代表箇所 各1部	樹木の形状が判明できるように撮影 全体区域、部分的に施工前及び完成状況が判明できるように撮影	

3-2 土捨工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
1. 排砂管設備工						3-1-1排砂管設備工を適用する。
2. 土運船運搬工						3-1-2土運船運搬工を適用する。
3. 揚土土捨工						3-1-3揚土土捨工を適用する。

3-3 海上地盤改良工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
1. 床掘工						
1) ポンプ床掘	施工管理	使用船舶機械等	作業現場	現地搬入前又は現地搬入時	不要	全景及び数量が判明できるように撮影
		床 掘	床掘位置測量状況 中継船設置、撤去	測量時 設置撤去の作業時		法線又は区域標識を入れる。
		障害物除去	床掘状況 障害物積込状況 運搬船に積込まれた状態	浚渫作業時、作業船毎積込時 積込完了時、運搬毎適宜		床掘位置が判明できる背景を入れる。 運搬個数が判明できるように撮影、或いは障害物の大きさが判明できるようにテープ等を同時に撮影、など障害物の状況に応じ撮影
	出来形管理	出来形の確認	障害物捨込状況 測定状況	捨込時 測量作業時	代表箇所 各1枚	全景については、位置が判明できる背景を入れる。
2) グラブ床掘	施工管理	使用船舶機械等	作業現場	現地搬入前又は現地搬入時	不要	全景及び数量が判明できるように撮影。
3) 硬土盤床掘						法線又は区域標識を入れる。
4) 砕岩床掘						船団の配置及び床掘位置が判明できる背景を入れる。
5) バックホウ床掘						位置、深度又は層を明記する。
		床 掘	床掘位置測量状況 床掘状況	測量時 床掘作業時、作業船毎		運搬個数が判明できるように撮影、或いは障害物の大きさが判明できるようにテープ等を同時に撮影、など障害物の状況に応じ撮影
		障害物除去	土質状況 障害物積込状況 運搬船に積込まれた状態	床掘作業時 積込時 積込完了時、運搬毎適宜		
	出来形管理	出来形の確認	障害物捨込状況 測定状況	捨込時 測量作業時	代表箇所 各1枚	全景については、位置が判明できる背景を入れる。
2. 排砂管設備工						3-1-1排砂管設備工 を適用する。
3. 土運船運搬工						3-1-2土運船運搬工 を適用する。
4. 揚土土捨工						3-1-3 揚土土捨工を適用する。
1) 土砂掘削						3-17-3裏埋土工 1) 土砂掘削を適用する。
2) 土砂盛土						3-17-3裏埋土工 2) 土砂盛土を適用する。
5. 置換工						
1) 置換材均し	施工管理	使用船舶機械等	運搬船舶機械 均し船舶機械	投入時 均し作業時	不要	全景が判明できるように撮影 均し用具は、作業前に撮影
2) 置換材均し		その他	海洋汚染防止対策 飛砂防止対策	対策を講じた時 対策を講じた時		
	品質管理	材料の確認	材 料	現場搬入時（種類、品質及び形状寸法の異なる毎）	不要	
			品質試験状況	試験時		
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	全景については、位置が判明できる背景を入れる。
6. 圧密・排水工						3-1-4圧密・排水工 1) サンドドレーン、2) 敷砂、3) 敷砂均し、4) 載荷土砂、5) ペーパードレーンを適用する。
7. 締固工						3-1-5締固工 2) サトコンパクションパイル、3) 盛上土砂撤去、4) 敷砂、5) 敷砂均しを適用する。
8. 固化工						3-1-6固化工 1) 深層混合処理杭、3) 敷砂、4) 敷砂均しを適用する。

3-4 基礎工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
1. 基礎盛砂工						
1) 盛 砂	施工管理	使用船舶機械等	運搬船舶機械	投入時	不要	全景が判明できるように撮影 均し用具は、作業前に撮影
2) 盛砂均し			均し船舶機械	均し作業時		
		その他	海洋汚染防止対策	対策を講じた時		
	品質管理	材料の確認	材 料	現場搬入時（種類、品質及び形状寸法の異なる毎）	不要	
			品質試験状況	試験時		
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	全景については、位置が判明できる背景を入れる。 3-1-7洗掘防止工を適用する。
2. 洗掘防止工						
3. 基礎捨石工						
1) 基礎捨石	施工管理	準備、仮設	ストックヤード、仮設	仮設道路、ストックヤード使用	不要	使用機械作業状況等が判明できるように撮影
2) 捨石本均し			道路等	前後		
3) 捨石荒均し			陸上運搬	運搬時		
	品質管理	材料試験	捨石投入	投入時、捨石規格毎及び作業船	不要	公的機関が実施する場合は省略できる。 スタッフ、テープ等を同時撮影
			捨石均し	規格及び作業船毎		
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	
4. 袋詰コンクリート工						2-11袋詰コンクリートを適用する。
5. 基礎ブロック工						
1) 基礎ブロック製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	不要	ヤード全景及び設備が判明出来るように撮影 使用する機械等の種類が判明できるように撮影
			使用船舶機械等	クレーン等		
	品質管理	函 台	製作函台	着工時	不要	2-7コンクリートの品質管理を適用する。
			出来形管理	鉄 筋		
	出来形管理	型 枠	組立完了	組立確認時	代表箇所 各1枚	3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。 函台、函台の平坦性（敷砂等）及び剥離材（ルーフィング等）敷設状況の撮影 番号等を入れて撮影 個数が確認できれば1枚に複数枚入れて撮影（全個数確認必要枚数撮影） 積重ね段数が判明できるように撮影
			コンクリート	形状寸法、外観		
	出来形管理	完成	完成品	完成時	代表箇所 各1枚	使用船舶機械等が判明できるように撮影 据付作業が判明できるように撮影 据付の全体が判明できるように撮影
			仮置状況	仮置時		
2) 基礎ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	施工時	不要	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
	出来形管理	据付作業	据付作業状況	据付時	代表箇所 各1枚	据付の全体が判明できるように撮影
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	目地測定時及び法線出入の測定	代表箇所 各1枚	据付の全体が判明できるように撮影
6. 水中コンクリート工						2-10水中コンクリートを適用する。
7. 水中不分離性コンクリート工						2-12水中不分離性コンクリートを適用する。
8. 基礎栗石工						
1) 基礎栗石均し	施工管理	基礎栗石投入	基礎栗石投入、均し、	施工時	不要	作業機械作業状況等が判明できるように撮影
	品質管理	材料の確認	基礎栗石均し	締固め	不要	主要資材については〈品〉の項目による試験及び検査 の状況が判明できるように撮影
			試験及び検査	試験及び検査時		
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	基礎栗石の暑さが判明できるように撮影

3-5 本体工（ケーソン式）

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
1. ケーソン製作工						
1) ケーソン製作用台船	施工管理	使用船舶機械等	フローティングドック、引船、起重機船、運搬船、クレーン運搬機械等	施工時	不要	使用する船舶、機械の種類が判明できるように撮影
		ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景		
2) 底 面	施工管理	函 台	製作函台	着工時及び施工時	不要	ヤード全景及び設備が判明できるように撮影 函台、函台の平坦性（敷砂等）及び剥離材（ルーフィング等）の敷設状況の撮影
3) マット	施工管理	摩擦増大用マット類の確認	補強材セット状況 アスファルトコンクリート打設状況 搬入仮置 アンカー取付け、加工 運 搬	作業中、完了時 アスファルトコンクリート打設時 搬入仮置時 取付加工時 運搬時	不要	作業状況が判明できるように撮影
	出来形管理	摩擦増大用マット敷設状況 摩擦増大用マット出来形の確認	敷設状況と使用船舶機械 敷設位置、重ね幅、延長及びジョイントの確認	敷設完了時	代表箇所 各1枚	確認箇所が判る背景を入れる。
4) 支 保						2-9型枠及び支保工を適用する。
5) 足 場	施工管理	足 場	組立状況 昇り足場設置状況 壁継ぎ設置状況 足場スペースの確保状況 解体状況	組立時 同 上 同 上 同 上 解体時	不要	内足場及び外足場の組立状況を撮影 足場の構造、安全ネット等が判明できるように撮影
6) 鉄 筋	施工管理 出来形管理	鉄 筋	組立て 底 版 フーチング 外壁（側壁） 隔 壁 ハンチ部 吊筋等 かぶり	組立段階確認時 組立段階確認時 各層 組立段階確認時 各層 組立段階確認時 上段 組立段階確認時 上段 組立段階確認時 各層 組立段階確認時	代表箇所 各1枚	2-8鉄筋工を適用する。 組立完了状況が判明できるように撮影
7) 型 枠	施工管理 出来形管理	型 枠	組立て 底版 フーチング 外壁（側壁） 隔 壁 ハンチ部	組立段階確認時 組立段階確認時 各層 組立段階確認時 各層 組立段階確認時 上段 組立段階確認時	代表箇所 各1枚	鉄筋と型枠の間隔が判明できるように撮影 2-9型枠及び支保工を適用する。 組立完了状況が判明できるように撮影

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
8) コンクリート	施工管理					2-4運搬打設工を適用する。
	品質管理 出来形管理	コンクリート 完 成	形状寸法、外観 完成品全景	打設後、各層 完成時、各函毎	代表箇所 各1枚	2-7コンクリートの品質管理を適用する。 打設完了状況が判明できるように撮影 ケーソン番号、吃水マーク等を入れて撮影
2. ケーソン進水据付工						
1) バラスト	施工管理	バラスト投入	バラスト材投入状況	投入時	不要	バラスト投入方法及び材料が判明できるように撮影
2) 止水板	施工管理	止水板	止水板の設置状況	進水時	不要	曳航の場合で蓋の取付状況又は取付完了状態を撮影
3) 上 蓋	施工管理	蓋(ネットを含む。)	蓋の設置状況	進水時	不要	曳航の場合で蓋の取付状況又は取付完了状態を撮影
4) 進 水	施工管理	進 水	進水方法	進水時	不要	斜路式、ドライドック、FD、吊降し等の方法が判明できるように撮影
			進水設備	進水時		設備（吊降しの場合、起重機船、吊具を含む。）が判明できるように撮影
			進水状況	進水時		漏水がある場合は漏水状況及び処置状況を撮影
			浮 上	浮上又は吊上げ完了状況		進水（吊上げ）完了時
5) 仮 置	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、発電機、ポンプ等設置状況	設置時	不要	使用する船舶機械等の種類が判明できるように撮影
	(沈設の場合) (係留の場合)	仮置作業	沈設状況	仮置時	代表箇所 各1枚	沈設作業（注水を含む。）が判明できるように撮影
		仮置作業	係留状況	仮置時		係留作業（係留アンカーを含む。）が判明できるように撮影
	出来形管理 (沈設の場合) (係留の場合)	仮置完了	沈設完了状況	完了時、各函毎	完了時、各函毎	代表箇所 各1枚
仮置完了		係留完了状況	完了時、各函毎	完了時、各函毎	係留完了状態（係留ロープを含む。）が判明できるように撮影	
6) 回航・えい航	施工管理	蓋の設置状況	完了状況	完了時、各函毎	不要	形象物等が判明できるように撮影
		使用船舶	引船全景	えい航開始時		えい航・回航用ロープの取付位置及び状況について撮影
		えい航・回航用ロープ	取付状況及び、吊具取付状況	えい航開始時		えい航・回航の姿勢が判明できるように撮影
		えい航・回航	えい航・回航姿勢	えい航・回航時		途中寄港した場合には、その係留等の状態が判明できるように撮影
		寄港避難	寄港及び避難の状況	寄港時及び避難時、各函毎		えい航・回航が完了したことが判明できるように撮影 (付近の背景を同時撮影)
	出来形管理	えい航・回航完了	完了（目的地着）状況	えい航・回航完了時	代表箇所 各1枚	
7) 据 付	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、発電機、ポンプ等配置状況	施工時	不要	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		据付作業	据付作業状況	据付時、各函毎		据付作業が判明できるように撮影
		据付位置	前面又は背面の確認	据付時、各函毎		配筋が非対象の場合に適用する。
	出来形管理	出来形の確認	据付完了状況	完了時	代表箇所 各1枚	据付完了が判明できるように撮影
		据付目地	据付完了状況	完了時		代表的な部分を撮影
		据付法線の出入	据付完了状況	完了時		完成法線が判明できるように撮影（延長方向へ撮影）
3. 中詰工						3-1-8中詰工を適用する。
4. 蓋コンクリート工						3-1-9蓋コンクリート工を適用する。
5. 蓋ブロック工						3-1-10蓋ブロック工を適用する。

3-6 本体外工（ブロック式）

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
1. 本体ブロック製作工						
1) 底 面	施工管理	ヤード等 使用船舶機械等	ヤード及び設備 クレーン等	着工時全景 施工時 着工時	不要	3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。
2) 足 場	施工管理	函 台 足場	製作函台	組立時 解体時	不要	3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。
3) 鉄 筋	施工管理 出来形管理	鉄 筋	組立て 底 盤 フーチング 壁 ハンチ部 吊筋等 かぶり	組立完了時 組立完了時 組立完了時 組立完了時 組立完了時	不要 代表箇所 各1枚	2-8鉄筋工を適用する。 組立完了状況が判明できるように撮影     鉄筋と型枠の間隔が判明できるように撮影
4) 型 枠	施工管理 出来形管理	型 枠	組立完了	組立確認時	不要 代表箇所 各1枚	2-9型枠及び支保工を適用する。 組立完了状況が判明できるように撮影
5) コンクリート	施工管理 品質管理 出来形管理	コンクリート 完 成	形状寸法、外観 完成品  仮置状況	打設後 完成時  仮置時	不要 代表箇所 各1枚	2-4運搬打設工を適用する。 2-7コンクリートの品質管理を適用する。 番号等を入れて撮影 個数が確認できれば1枚に複数入れて撮影（全個数 確認必要枚数撮影） 積重ね段数が判明できるように撮影
2. 本体ブロック据付工						
1) 本体ブロック据付	施工管理 出来形管理	使用船舶機械等 据付作業 出来形の確認	起重機船、台船等 据付作業状況 測定状況	施工時 据付時 目地測定時及び法線出入の測定	不要 代表箇所 各1枚	使用する船舶機械等が判明できるように撮影 据付作業が判明できるように撮影 据付の全体が判明できるように撮影
3. 中詰工						3-1-8 中詰工を適用する。
4. 蓋コンクリート工						3-1-9 蓋コンクリート工を適用する。
5. 蓋ブロック工						3-1-10 蓋ブロック工を適用する。
6. 前面壁ブロック工、張りブロック工						
1) ブロック製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	不要	3-6-1 本体ブロック製作工の関連事項を適用する。
2) ブロック据付	施工管理 出来形管理	使用船舶機械等 据付作業 出来形の確認	起重機船、クレーン等 据付作業状況 測定状況	施工時 据付時 測定時	不要 不要 不要	使用する船舶機械等が判明できるように撮影 据付作業が判明できるように撮影 据付の全体が判明できるように撮影

3-7 本土工（場所打式）

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. 場所打コンクリート工						
1) 足場	施工管理	足場	組立て 解体	組立時 解体時		3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。
2) 鉄筋	施工管理	鉄筋	鉄筋の仮置、溶接、組立作業 組立て、結束及び溶接	施工時 組立時	不要	
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	測定作業が判明できるように撮影
3) 型枠	施工管理	型枠	型枠の構造 目地材等の取付状況	施工時 施工時	不要	作業機械、船舶、作業方法が判明できるように撮影
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	測定作業が判明できるように撮影
4) 伸縮目地	施工管理	伸縮目地	伸縮目地の設置状況	施工時	不要	
5) コンクリート	施工管理	準備仮設	プラント仮設、コンクリートミキサー船回航、仮設道路、登坂路等	着手前後作業中及び跡片付後	不要	
			コンクリートミキサー船回航	回航開始時、終了時及び施工時		使用船舶、回航の状況等が判明できるように撮影
			仮設道路、登坂路等	仮設作業時、設置後及び撤去時		路線状況が判明できるように撮影
		打継ぎ処理	処理作業	施工時		作業方法が判明できるように撮影
		コンクリート	仕上状況	表面仕上時		天端均し仕上状況を撮影
		その他	灯台基礎、電柱穴、階段等	穴埋時 施工時		型枠取外後の締付材等の穴埋状況を撮影
	品質管理				不要	2-7コンクリートの品質管理を適用する。
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	測定作業が判明できるように撮影
6) 補助ヤード施設	施工管理	補助ヤード	補助ヤード	着工時全景	不要	ヤード全景及び設備が判明できるように撮影
2. 水中コンクリート工						2-10水中コンクリートを適用する。
3. プレバックドコンクリート工						2-13プレバックドコンクリート工を適用する。
4. 水中不分離性コンクリート工						2-12水中不分離性コンクリートを適用する。
5. 止壁工						
1) 止壁コンクリート						3-14-1上部コンクリート工の関連事項を適用する。



3-8 本土工（捨石・捨ブロック式）

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
1. 洗掘防止工						3-1-7 洗掘防止工を適用する。
2. 本体捨石工						
1) 本体捨石	施工管理	準備、仮設	ストックヤード、仮設道路等	仮設道路、ストックヤード使用前	不要	作業機械作業状況等が判明できるように撮影
2) 本体捨石均し		陸上運搬	ストック、積み込み、運搬状況	運搬時		
		捨石投入 捨石均し	投入状況 均し状況	投入時、捨石規格毎及び作業船規格及び作業船毎		
	品質管理	材料試験	試験状況	試験時	不要	公的機関が実施する場合は省略できる。
		材料の確認	産地・規格毎	搬入時		スタッフ、テープ等を同時撮影
	出来形管理	出来形の確認	測量状況	測量作業時	代表箇所 各1枚	
3. 捨ブロック工						
1) 捨ブロック製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	不要	3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。
		使用船舶機械等 函 台	クレーン等 製作函台	施工時 着工時		
	品質管理				不要	2-7コンクリートの品質管理を適用する。
	出来形管理	鉄 筋	組立てかぶり	組立完了時	代表箇所 各1枚	3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。
		型 枠	組立完了	組立確認時		
		コンクリート 完 成	形状寸法、外観 完成品	打設後 完成時		
			仮置状況	仮置時		番号等を入れて撮影 個数が確認できれば1枚に複数入れて撮影（全個数確認必要枚数撮影） 積重ね段数が判明できるように撮影
2) 捨ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	施工時	不要	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
	出来形管理	据付作業 出来形の確認	据付作業状況 測定状況	据付時 測定時	代表箇所 各1枚	据付作業が判明できるように撮影 据付の全体が判明できるように撮影
4. 場所打コンクリート工						
1) 基礎砕石	品質管理	材料の確認	材 料	現場搬入時（種類、品質及び形状寸法の異なる毎）	不要	
			品質試験状況	試験時		
2) 型 枠	施工管理	型 枠	型枠の構造	施工時	不要	作業機械、船舶、作業方法が判明できるように撮影
	出来形管理	出来形の確認	目地材等の取付状況	施工時 測定時	代表箇所 各1枚	測定作業が判明できるように撮影
3) 伸縮目地	施工管理	伸縮目地	伸縮目地の設置状況	施工時	不要	
4) コンクリート	施工管理	準備仮設	プラント仮設、コンクリートミキサー船回航、仮設道路、登坂路	着手前後作業中及び跡片付後	不要	使用船舶、回航の状況等が判明できるように撮影
			コンクリートミキサー船回航	回航開始時、終了時及び作業施工時		
			仮設道路、登坂路等	仮設作業時、設置後及び撤去時		
		打継ぎ処理	処理作業	施工時	不要	路線状況が判明できるように撮影 作業方法が判明できるように撮影
		コンクリート	仕上状況	表面仕上時		
		その他	穴埋時	穴埋時		
	品質管理		灯台基礎、電柱穴、階	施工時		型枠取外後の締付材等の穴埋状況を撮影
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	2-7コンクリートの品質管理を適用する。 測定作業が判明できるように撮影

3-9 本土工（鋼矢板式）

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. 鋼矢板工						3-1-11鋼矢板工を適用する。
2. 控工						3-1-12控工を適用する。

3-10 本土工（コンクリート矢板式）

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. コンクリート矢板工						3-1-11 鋼矢板工 2)鋼矢板を適用する。
1) コンクリート矢板						
2. 控工						3-1-12 控工を適用する。

3-11 本土工（鋼杭式）

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. 鋼杭工						3-1-13鋼杭工を適用する。

3-12 本土工（コンクリート杭式）

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. コンクリート杭工						3-1-13 鋼杭工を適用する。

3-13 被覆・根固工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. 被覆石工						
1) 被覆石						3-4-3 基礎捨石工 1)基礎捨石を適用する。
2) 被覆石均し						3-4-3 基礎捨石工 2)捨石本均し、3)捨石荒均しを適用する。
2. 袋詰コンクリート工						2-11袋詰コンクリートを適用する。
3. 被覆ブロック工						
1) 被覆ブロック製作	施工管理	ヤード等 使用船舶機械等 函台	ヤード及び設備	着工時全景	不要	3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。
			クレーン等	施工時		
	製作函台	着工時				
品質管理 出来形管理		鉄筋 型枠 コンクリート 完成	組立てかぶり	組立完了時	不要 代表箇所 各1枚	2-7コンクリートの品質管理を適用する。
			組立完了	組立確認時		3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。
			形状寸法、外観 完成品	打設後 完成時		番号等を入れて撮影 個数が確認できれば1枚に複数入れて撮影（全個数 確認必要枚数撮影） 積重ね段数が判明できるように撮影
2) 被覆ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等 据付作業	起重機船、台船等	仮置時	不要	使用する船舶機械等が判明できるように撮影 据付作業が判明できるように撮影 据付の全体が判明できるように撮影
			据付作業状況	施工時		
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	据付時 測定時	代表箇所 各1枚	

3-13 被覆・根固工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
4. 根固ブロック工						
1) 根固ブロック製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	不要	3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。
		使用船舶機械等	クレーン等	施工時		
	品質管理 出来形管理	函 台	製作函台	着工時	不要 代表箇所 各1枚	2-7コンクリートの品質管理を適用する。 3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。
		鉄 筋 型 枠	組立てかぶり 組立完了	組立完了時 組立確認時		
	コンクリート 完 成	形状寸法、外観 完成品	打設後 完成時		番号等を入れて撮影 個数が確認できれば1枚に複数枚入れて撮影（全個数 確認必要枚数撮影） 積重ね段数が判明できるように撮影	
2) 根固ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	施工時	不要	3-13-3 被覆ブロック工 2)被覆ブロック据付の関連事項を適用する。
	出来形管理	据付作業 出来形の確認	据付作業状況 測定状況	据付時 測定時	代表箇所 各1枚	
5. 水中コンクリート工						2-10水中コンクリートを適用する。
6. 水中不分離性コンクリート工						2-12水中不分離性コンクリートを適用する。
7. サンドマスチック工						
1) サンドマスチック	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	施工時	不要	
		施工状況	作業状況	施工時		
	品質管理 出来形管理	材料の確認	試験及び検査	試験及び検査時	不要 代表箇所 各1枚	
		出来形の確認	測定状況	測定時		

3-14 上部工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
1. 上部コンクリート工						
1) 支 保						2-9型枠及び支保工を適用する。
2) 足 場	施工管理	足場	組立て 解体	組立時 解体時		3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。
3) 鉄 筋	施工管理	鉄 筋	鉄筋の仮置、溶接、組立作業	施工時	不要	
			組立て、結束及び溶接	組立時		
4) 型 枠	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	測定作業が判明できるように撮影 作業機械、船舶、作業方法が判明できるように撮影
	施工管理	型 枠	型枠の構造 目地材等の取付状況	施工時	不要	
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	
5) 伸縮目地	施工管理	伸縮目地	伸縮目地の設置状況	施工時	不要	測定作業が判明できるように撮影

3-14 上部工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明	
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度		
6) コンクリート	施工管理	準備仮設	プラント仮設、コンクリートミキサー船回航、仮設道路、登坂路等	着手前後施工時及び跡片付後	不要	使用船舶、回航の状況等が判明できるように撮影	
			コンクリートミキサー船回航	回航開始時、終了時及び施工時			
			仮設道路、登坂路等	仮設作業時、設置後及び撤去時			
		打継ぎ処理 コンクリート	処理作業 仕上状況	施工時 表面仕上時 穴埋時			路線状況が判明できるように撮影 作業方法が判明できるように撮影 天端均し仕上状況を撮影 型枠取外後の締付材等の穴埋状況を撮影
	その他	灯台基礎、電柱穴、階段等	施工時				
	品質管理				不要	2-7コンクリートの品質管理を適用する。	
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	測定作業が判明できるように撮影	
	7) 補助ヤード施設	施工管理	補助ヤード	補助ヤード	着工時全景	不要	ヤード全景及び設備が判明できるように撮影
	2. 上部ブロック工 1) 上部ブロック製作	施工管理	ヤード等 使用船舶機械等 函 台	ヤード及び設備	着工時全景	不要	3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。
クレーン等				施工時			
製作函台				着工時			
品質管理 出来形管理		鉄 筋 型 枠 コンクリート 完 成	組立てかぶり	組立完了時	不要 代表箇所 各1枚	2-7コンクリートの品質管理を適用する。 3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。	
			組立完了	組立確認時			
			形状寸法、外観 完成品	打設後 完成時			
2) 上部ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等 据付作業	起重機船、台船等	施工時	不要	3-13-3 被覆ブロック工 2)被覆ブロック据付の関連事項を適用する。	
			据付作業状況	据付時			
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚		

3-15 付属工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
1. 係船柱工						
1) 係船柱	施工管理	使用船舶機械等	杭打機、クレーン車(船)、トラック等	設置時	不要	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		施 工	基礎工施工状況	施工時		基礎施工状況(杭打ち、基礎石投入、均し及びコンクリート打設等)を撮影(押込ボルトを含む。)
	品質管理	据 付	本体据付状況	据付時		据付状況が判明できるように撮影
	出来形管理	搬入数量の確認	係船柱	搬入時	不要	搬入数量及び所定の規格表示が判明できるように撮影
		杭	基礎杭	杭打完了時	代表箇所 各1枚	基礎杭打込完了状況が判明できるように撮影
		石材投入、均し	基礎石投入均し完了状況	均し完了時		基礎石均しが判明できるように撮影
		型 枠	型枠組立完了状況	組立完了時		打設前の型枠、埋込ボルト検査状態
		基礎完成	基礎完成状況	完成時		完成が判明できるように撮影
		据付完成	本体据付確認状況	完成時		据付完了状態が判明できるように撮影
2. 防舷材工						
1) 防舷材	施工管理	使用船舶機械等	台船、クレーン車(船)	取付時	不要	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		取付け	取付位置の状況	取付前		埋込(取付)ボルトの部分及び全景取付状況の撮影
	品質管理	搬入数量の確認	取付状況	取付時		
	出来形管理	出来形の確認	防舷材	搬入時	不要	搬入数量及び所定の規格表示が判明できるように撮影
			取付完了状態	取付完了時	代表箇所 各1枚	取付完了状態の部分(1基)及び正面全体と延長方向全景
3. 車止・縁金物工						
1) 車止・縁金物	施工管理	使用船舶機械等	台船、溶接機、クレーン	取付時	不要	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		取付け	取付状況	取付時		取付状況(取付け、溶接、コンクリート打設)
	品質管理	形状寸法	塗装状況	塗装時、各層毎		各層毎の塗装状況(警戒色塗装を含む。)
	出来形管理	塗 料	測定状況	測定時	不要	塗料の種類別に内容が判明できるもの
		取付け	塗料の種類毎	搬入時		取付完了状態の部分(1基)及び正面全体と法線方向全景
			取付完了状態	取付完了時	代表箇所 各1枚	3-1-15防食工を適用する。
4. 防食工						
5. 付属設備工						
1) 係船環	施工管理	使用船舶機械等	クレーン車(船)、トラック等	設置時	不要	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		取 付	本体取付状況	取付時		取付状況が判明できるように撮影
	品質管理	搬入数量の確認	係船環	搬入時	不要	搬入数量及び所定の規格表示が判明できるように撮影
	出来形管理	取付完了	本体取付確認状況	完了時	代表箇所 各1枚	取付完了状態が判明できるように撮影
6. 滑り材工						
1) 滑り材	施工管理	取 付	取付状況	取付時	不要	取付状況が判明できるように撮影
	品質管理	搬入数量の確認	滑り材	搬入時	不要	搬入数量及び所定の規格表示が判明できるように撮影
	出来形管理	出来形の確認	取付完了状態	取付完了時	代表箇所 各1枚	取付完了状態が判明できるように撮影

3-16 消波工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. 洗掘防止工						3-1-7 洗掘防止工を適用する。
2. 消波ブロック工						
1) 消波ブロック製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	不要	3-13-3 被覆ブロック工 1)被覆ブロック製作の関連事項を適用する。
		使用船舶機械等 函 台	クレーン等 製作函台	施工時 着工時		
	品質管理 出来形管理	鉄 筋	組立てかぶり	組立完了時	不要 代表箇所 各1枚	2-7コンクリートの品質管理を適用する。 3-13-3 被覆ブロック工 1)被覆ブロック製作の関連事項を適用する。
		型 枠	組立完了	組立確認時		
		コンクリート	形状寸法、外観	打設後		
		完 成	完成時	完成時		
2) 消波ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等 据付作業	起重機船、台船等 据付作業状況	施工時 据付時	不要	3-13-3 被覆ブロック工 2)被覆ブロック据付の関連事項を適用する。
		出来形管理	出来形の確認	測定状況		

3-17 裏込・裏埋工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. 裏込工						
1) 目地板	施工管理	目地板の確認	搬入	搬入時	不要	
		敷設状況	敷設状況と使用船舶機械	敷設時		
	品質管理	材料試験	試験状況	試験時	不要	
	出来形管理	目地板の形状寸法	測定状況	測定時		
2) 裏込材 3) 瀬取り 4) 裏込均し	施工管理	出来形の確認	敷設完了状態	敷設完了時	代表箇所 各1枚 不要	
		準備、仮設	ストックヤード、仮設道路等	仮設道路、ストックヤード使用前		
		陸上運搬	ストック、積み込み、運搬状況	運搬時		
		瀬取り	瀬取り状況	施工時		
	品質管理	裏込材投入	投入状況	投入時、捨石規格毎及び作業船	不要	作業機械及び作業状況等が判明できるように撮影
		裏込均し	均し状況	規格及び作業船毎		
		材料試験	試験状況	試験時		
出来形管理	材料の確認	産地・規格毎	搬入時			
	出来形の確認	測量状況	測量作業時	代表箇所 各1枚	公的機関が実施する場合は省略できる。 スタッフ、テープ等を同時撮影	

3-17 裏込・裏埋工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
5) 吸い出し防止材	施工管理	吸い出し防止材の確認	搬入	搬入時	不要	
		敷設状況	敷設状況と使用船舶機械	敷設時		
	品質管理	材料試験	試験状況	試験時	不要	
		吸い出し防止材の形状寸法	測定状況	測定時		
出来形管理	出来形の確認	敷設完了状態	敷設完了時	代表箇所 各1枚		
2. 裏埋工						
1) 裏埋材	施工管理	使用船舶機械 施工状況一般	主要船舶機械	施工時、船舶機械毎	不要	使用する船舶機械の種類が判明できるように撮影
			埋立材の採取状況	採取作業時		
			埋立材運搬の状況	運搬作業時		
			埋立材整地状況	整地作業時		
品質管理	材料の品質管理状況	余水吐の設置及び撤去 公害防止対策	設置作業時及び撤去時 防止処置作業時	不要	余水吐が判明できるように撮影	
		〈特〉に定められた品質管理の作業状況	品質管理作業時、品質管理内容毎			
出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚		
3. 裏埋土工						
1) 土砂掘削	施工管理	使用機械 仮置場及び土砂処分場 掘削・切土 運 搬 埋戻し及び裏込め	主要機械	施工時、機械毎	不要	使用機械の種類が判明できるように撮影 各作業状況が判明出来るように撮影
			仮置場及び土砂処分状況	施工時、機械毎		
			掘削、切土、穿孔及び発破状況	施工時、機械毎		
			土砂の搬入、搬出状況			
出来形管理	出来形の確認	材料の投入及び均し状況	測定時、作業毎	代表箇所 各1枚		
		測定状況				
2) 土砂盛土	施工管理	使用機械 仮置場及び土砂処分場	主要機械	施工時、機械毎	不要	使用機械の種類が判明できるように撮影 各作業状況が判明出来るように撮影
			仮置場及び土砂処分状況	施工時、機械毎		
	品質管理	材料の確認	土砂の搬入、搬出状況	試験及び搬入時	不要	主要材料並びに試験及び搬入の状況が判明できるように撮影 撮影項目は〈品〉1.土及び2.石材等による。
			盛土及び各層の転圧状況			
出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時、作業毎	代表箇所 各1枚	盛土の各層の仕上り厚さが判明できるように撮影	

3-18 陸上地盤改良工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
1. 圧密・排水工						3-1-4 圧密・排水工を適用する。
2. 締固工						3-1-5 締固工を適用する。
3. 固化工						3-1-6 固化工を適用する。

3-19 土 工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
1. 掘削工						
1) 土砂掘削						3-17-3裏埋土工 1) 土砂掘削 を適用する。
2. 盛土工						
1) 土砂盛土						3-17-3裏埋土工 2) 土砂盛土 を適用する。
3. 路床盛土工						
1) 路床盛土	施工管理	使用機械 運 搬 路床盛土	主要機械 土砂の搬入状況 路床盛土及び各層の転 圧状況	施工時、機械毎 施工時、機械毎	不要	使用機械の種類が判明できるように撮影 各作業状況が判明出来るように撮影
	品質管理	材料の確認	試験及び搬入状況	試験及び搬入時	不要	主要材料並びに試験及び搬入の状況が判明できるように撮影 撮影項目は〈品〉1. 土及び2. 石材等による。
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時、作業毎	代表箇所 各1枚	路床盛土の各層の仕上り厚さが判明できるように撮影
4. 排水処理工						
1) 排水処理	施工管理	使用機械 排 水	主要機械 排水処理状況	施工時、機械毎 施工時、機械毎	不要	使用機械の種類が判明できるように撮影 作業状況が判明出来るように撮影
	出来形管理	完 了	完了全景	完了時	代表箇所 各1枚	
5. 伐開工						
1) 伐 開	施工管理	使用機械 伐 開 運 搬	主要機械 伐開、除根状況 切株等の搬出状況	施工時、機械毎 施工時、機械毎	不要	使用機械の種類が判明できるように撮影 各作業状況が判明出来るように撮影
	出来形管理	完 了	完了全景	完了時	代表箇所 各1枚	
6. 法面工						
1) 法 面	施工管理	使用機械 法 面 運 搬 植 生	主要機械 切取り状況 土砂の搬出状況	施工時、機械毎 施工時、機械毎	不要	使用機械の種類が判明できるように撮影 各作業状況が判明出来るように撮影
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時、作業毎	代表箇所 各1枚	3-1-19 植生工を適用する。



3-20 舗装工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
1. 路床工						3-1-16路床工を適用する。
2. コンクリート舗装工						3-1-17コンクリート舗装工を適用する。
3. アスファルト舗装工						3-1-18アスファルト舗装工を適用する。

3-21 維持補修工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
1. 維持塗装工						
1) 係船柱塗装	施工管理	使用船舶機械等	使用船舶、機械類	施工時	不要	曳船、台船、コンプレッサー等が判明できるように撮影
2) 車止塗装						
3) 緑金物塗装	出来形管理	塗 装	施工状況	施工時、各層毎	代表箇所 各1部	完了の部分（1箇所）及び正面全体と延長方向を撮影
		出来形の確認	塗装完了状態	完了時		
2. 防食工						3-1-15 防食工を適用する。

3-22 魚礁工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
1. 魚礁製作工・単体魚礁製作						
1) 単体魚礁製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	不要	3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。
		使用船舶機械等	クレーン等	施工時		
		函 台	製作函台	着工時		
		鉄筋				
		型枠				
	品質管理 出来形管理	足場			不要 代表箇所 各1枚	2-8鉄筋工を適用する。 2-9型枠・支保及び足場工を適用する。 2-9型枠・支保及び足場工を適用する。 2-4運搬打設工を適用する。 2-7コンクリートの品質管理を適用する。 3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。
		コンクリート				
		鉄 筋	組立てかぶり	組立完了時		
		型 枠	組立完了	組立確認時		
		コンクリート	形状寸法、外観	打設後		
	完 成	完 成	完成品	完成時	不要	番号等を入れて撮影 個数が確認できれば1枚に複数入れて撮影（全個数 確認必要枚数撮影） 積重ね段数が判明できるように撮影
			仮置状況	仮置時		
2. 魚礁製作工・組立魚礁製作						
1) コンクリート 部材組立	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	不要	3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。
		使用機械等	クレーン等	施工時		
		足場				
		組立部材	運搬状況	施工時		
			保管状況	搬入後		
	品質管理	組立部材の外観、形 状寸法、質量	組立状況	組立時	不要	荷崩れ防止装置、積載状況が判明できるように撮影 まくら木の配置、覆いの状態等を撮影 組立部分及び全景組立状況を撮影 部材の種類、形状寸法毎にテープ等を同時撮影
			観察、測定状況	観察、測定時		

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1) コンクリート部材組立	出来形管理	ボルト等	取付外観	観察時	代表箇所 各1枚	個数が確認できれば1枚に複数入れて撮影（全個数確認必要枚数撮影）
		完成	完成品	完成時		
			仮置状況	仮置時		
2) 鋼製部材組立	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	不要	3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。  2-9型枠・支保及び足場工を適用する。 荷崩れ防止装置、積載状況が判明できるように撮影 まくら木の配置、覆いの状態等を撮影 組立部分及び全景組立状況を撮影
		使用機械等	クレーン等	施工時		
		足場				
		組立部材	運搬状況	施工時		
			保管状況	搬入後		
			組立状況	組立時		
	品質管理	組立部材の外観、形状寸法、質量	観察、測定状況	観察、測定時	不要	部材の種類、形状寸法毎にテープ等を同時撮影
	出来形管理	溶接の外観	溶接外観	観察時	代表箇所 各1枚	テープ、ゲージ等を同時撮影  個数が確認できれば1枚に複数入れて撮影（全個数確認必要枚数撮影）
		のど厚、脚長、溶接長等	計上寸法	測定時		
		溶接部試験	非破壊試験の状況	試験時		
		完成	完成品	完成時		
3) FRP部材組立	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	不要	3-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用する。  2-9型枠・支保及び足場工を適用する。 荷崩れ防止装置、積載状況が判明できるように撮影 まくら木の配置、覆いの状態等を撮影 組立部分及び全景組立状況を撮影
		使用機械等	クレーン等	施工時		
		足場				
		組立部材	運搬状況	施工時		
			保管状況	搬入後		
			組立状況	組立時		
	品質管理	組立部材の外観、形状寸法、質量	観察、測定状況	観察、測定時	不要	部材の種類、形状寸法毎にテープ等を同時撮影
	出来形管理	接続帯等	取付外観	観察時	代表箇所 各1枚	個数が確認できれば1枚に複数入れて撮影（全個数確認必要枚数撮影）
		完成	完成品	完成時		
			仮置状況	仮置時		
	4) 重錘コンクリート製作					3-6-1 本体ブロック製作工の関連事項を適用する。
3. 魚礁沈設工						
1) 魚礁沈設	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	施工時	不要	使用する船舶機械等が判明できるように撮影 測量作業状況が判明できるように撮影 沈設作業が判明できるように撮影
		沈設位置測量作業	測量作業状況	測量時		
		沈設作業	沈設作業状況	沈設時		
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	

3-23 増殖場工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
1. 着定基質製作工・単体着定基質製作						
1) 着定基質製作	施工管理 品質管理 出来形管理					3-16-2 消波工ブロック工（魚礁タイプは3-23-1 単体魚礁製作工）を適用する。
2. 着定基質製作工・組立着定基質製作						
1) 着定基質組立	施工管理 品質管理 出来形管理					3-23-2 組立魚礁組立工を適用する。
3. 着定基質設置工						
1) 着定基質設置	施工管理 品質管理 出来形管理					3-23-3 魚礁沈設工を適用する。
4. 石材着定基質工						
1) 石材投入	施工管理 品質管理 出来形管理	準備 石材投入 石材均し 材料試験 材料の確認 出来形の確認	ストックヤード等 投入状況 均し状況 試験状況 産地・規格毎 測定状況	ストックヤード使用前後 投入時、石材規格毎及び作業船 規格及び作業船毎 試験時 搬入時 測量作業時	不要 不要 代表箇所 各1枚	公的機関が実施する場合は省略できる。 スタッフ、テープ等を同時撮影

3-24 構造物撤去工

工 種	撮影区分	撮影項目	撮 影 基 準			注意事項及び説明
			撮 影 箇 所	撮 影 時 期	提 出 頻 度	
1. 取壊し工						
1) コンクリート取壊し	施工管理 出来形管理	使用船舶機械等 施工状況 出来形の確認 完 成	使用船舶、機械等 作業状況 測定状況 完成全景	施工時 施工時 測定時 完成時	不要 代表箇所 各1枚	使用機械器具が判明できるように撮影

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
2. 撤去工						
1) 水中コンクリート撤去	施工管理	使用船舶機械等	使用船舶、機械等	施工時	不要	使用機械器具が判明できるように撮影
2) 鋼矢板等切断撤去		施工状況	作業状況	施工時		
3) 腹起・タイ材撤去						
4) 舗装版撤去	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	
5) 石材撤去						
6) ケーソン撤去						
7) ブロック撤去						
8) 鋼矢板・H形鋼杭引抜き撤去		完成	完成全景	完成時		

3-25 仮設工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. 仮設鋼矢板工						
1) 仮設鋼矢板・H形鋼杭						3-1-11 鋼矢板工 2) 鋼矢板を適用する。
2. 仮設鋼管杭・鋼管矢板工						
1) 先行掘削						3-1-13 鋼杭工 1) 先行掘削を適用する。
2) 仮設鋼管杭・鋼管矢板						3-1-13 鋼杭工 2) 鋼杭を適用する。
3. 仮設道路工						
1) 仮設道路						3-20舗装工の関連事項適用する。

3-26 雑工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. 現場鋼材溶接工						
1) 現場鋼材溶接	施工管理	開先の加工	加工状況	施工時	不要	使用機械器具が判明できるように撮影
2) 被覆溶接(水中)		溶接	作業状況	施工時		
3) スタッド溶接(水中)	品質管理	水中溶接	作業状況	施工時	不要	包装の表示が判明できるように撮影
		溶接棒、溶接ワイヤ	〈特〉の品質であることの表示	使用前		
	出来形管理	外観、形状寸法	観察、測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	ゲージを同時撮影
			形状寸法	測定時		
		試験	試料の採取状況	採取前及び採取時		
			強度試験の状況	試験時		
			非破壊試験の状況			
			カラーチェックの結果			

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
2. 現場鋼材切断工						
1) 現場鋼材切断	施工管理	切断 水中切断	作業状況	施工時	不要	使用機械器具が判明できるように撮影
	品質管理	酸素ガス及び溶解アセチレン	(特)の品質であることの表示	使用前	不要	ボンベの表示等が判明できるように撮影
	出来形管理	外観、形状寸法	観察、測定状況 形状寸法	測定時 測定時	代表箇所 各1枚	ゲージを同時撮影
3. その他雑工						
1) 清掃	施工管理	使用機械 施工状況	ブレーカ、プラスト等 作業状況	施工時 施工時	不要	使用機械器具が判明できるように撮影
	出来形管理	施工前区域  完成	施工前  完成全景	施工前  完成時	代表箇所 各1枚	全体区域、部分的に施工前及び完成の状況が判明できるように撮影 全体区域、部分的に施工前及び完成の状況が判明できるように撮影
2) 削孔	施工管理	使用機械 施工状況	カッター、ブレーカ等 作業状況	施工時 施工時	不要	使用機械器具が判明できるように撮影
	出来形管理	出来形の確認 完成	測定状況 完成全景	測定時 完成時	代表箇所 各1枚	

3-27 浚渫工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. ポンプ浚渫工						
1) ポンプ浚渫	施工管理	使用船舶機械等	作業現場	現地搬入前または現地搬入時	不要	全景及び数量が判明できるように撮影。
		位置測量 施工状況	浚渫位置測量状況 浚渫状況 中継船設置、撤去	測量時 浚渫作業時、作業船毎 設置撤去の作業時		法線又は区域標識を入れる。 浚渫位置が判明できる背景を入れる。
		障害物除去	障害物積込状況 運搬船に積込まれた状態	積込時 積込完了時、運搬毎適宜		運搬個数が判明できるように撮影、或いは障害物の大きさが判明できるようにテープ等を同時に撮影、など 障害物の状況に応じ撮影
	出来形管理	出来形の確認	障害物捨込状況 測定状況	捨込時 測量作業時	代表箇所 各1枚	全景については、位置が判明できる背景を入れる。 3-1-1排砂管設備工を適用する。
2) 排砂管設備						

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
2. グラブ浚渫工						
1) グラブ浚渫	施工管理	使用船舶機械等	作業現場	現地搬入前又は現地搬入時	不要	全景及び数量が判明できるように撮影。
		位置測量	浚渫位置測量状況	測量時		法線又は区域標識を入れる。
		施工状況	浚渫状況 土質状況	浚渫作業時、作業船毎 浚渫作業時		船団の配置及び浚渫位置が判明できる背景を入れる。 位置、深度又は層を明記する。
		障害物除去	障害物積込状況 運搬船に積込まれた状態	積込時 積込完了時、運搬毎適宜		運搬個数が判明できるように撮影、或いは障害物の大きさが判明できるようにテープ等を同時に撮影、など 障害物の状況に応じ撮影
	出来形管理	出来形の確認	障害物捨込状況 測定状況	捨込時 測量作業時	代表箇所 各1枚	全景については、位置が判明できる背景を入れる。 3-1-2土運船運搬工を適用する。
2) 土運船運搬						
3. 硬土盤浚渫工						
1) 硬土盤浚渫						3-28-2グラブ浚渫工 1) グラブ浚渫を適用する。
2) 土運船運搬						3-1-2土運船運搬工を適用する。
4. 岩盤浚渫工						
1) 砕岩浚渫						3-28-2グラブ浚渫工 1) グラブ浚渫を適用する。
2) 土運船運搬						3-1-2土運船運搬工を適用する。
5. バックホウ浚渫工						
1) バックホウ浚渫						3-28-2グラブ浚渫工 1) グラブ浚渫を適用する。
2) 土運船運搬						3-1-2土運船運搬工を適用する。
6. 揚土土捨工						

3-28 埋立工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. 余水吐工						
1) 余水吐	施工管理	施工状況一般	余水吐の設置及び撤去 公害防止対策	設置作業時及び撤去時 防止処置作業時	不要	余水吐が判明できるように撮影
2. 固化工						3-1-6 固化工 5) 事前混合処理を適用する。
3. 埋立工						
1) ポンプ土取	施工管理	使用船舶機械	主要船舶機械	作業時、船舶機械毎	不要	使用する船舶機械の種類が判明できるように撮影
2) グラブ土取		施工状況一般	埋立材の採取状況	採取作業時		
3) ガット土取		埋立材運搬の状況	運搬作業時			
	品質管理	材料の品質管理状況	埋立材整地状況 (特)に定められた品質管理の作業状況	整地作業時 品質管理作業時、品質管理内容毎	不要	撮影項目は(品) 1. 土及び2. 石材等による。
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	
4. 排砂管設備工						3-1-1排砂管設備工 を適用する。
5. 土運船運搬工						3-1-2土運船運搬工 を適用する。

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
6. 揚土埋立工						
1) バージアンローダ揚土						3-1-3 揚土土捨工 1)バ-ジアンローダ=揚土を適用する。
2) 空気圧送揚土						3-1-3 揚土土捨工 2) 空気圧送揚土を適用する。
3) リクレーマ揚土						3-1-3 揚土土捨工 3) リクレーマ揚土を適用する。
4) バックホウ揚土						3-1-3 揚土土捨工 4) バックホウ揚土を適用する。
7. 埋立土工						
1) 土砂掘削						3-17-3裏埋土工 1) 土砂掘削 を適用する。
2) 土砂盛土						3-17-3裏埋土工 2) 土砂盛土 を適用する。

3-29 道路舗装工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. 路床工						3-1-16 路床工を適用する。
2. コンクリート舗装工						3-1-17 コンクリート舗装工を適用する。
3. アスファルト舗装工						3-1-18 アスファルト舗装工を適用する。
4. 道路付属工						
1) 縁石	施工管理	縁石	据付、目地材の設置	施工時	不要	主要資材については〈品〉18.その他の項目による試験及び検査の状況が判明できるように撮影
	品質管理	材料の確認	試験及び検査	試験及び検査時	不要	
2) 区画線及び道路標示	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	主要資材については〈品〉18.その他の項目による試験及び検査の状況が判明できるように撮影
	施工管理	区画線、道路標示	舗装状況	施工時	不要	
	品質管理	材料の確認	試験及び検査	試験及び検査時	不要	
3) 道路標識	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	主要資材については〈品〉18.その他の項目による試験及び検査の状況が判明できるように撮影
	施工管理	道路標識	基礎幅、深さ、標識設置状況	施工時	不要	
4) 防護柵	品質管理	材料の確認	試験及び検査	試験及び検査時	不要	主要資材については〈品〉18.その他の項目による試験及び検査の状況が判明できるように撮影
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	
	施工管理	防護柵	設置穴の状況、防護柵設置状況	施工時	不要	
	品質管理	材料の確認	試験及び検査	試験及び検査時	不要	
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	代表箇所 各1枚	測定作業が判明できるように撮影

3-30 緑地工

工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準			注意事項及び説明
			撮影箇所	撮影時期	提出頻度	
1. 植生工						3-1-19植生工を適用する。

# 別紙 「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準（案）」

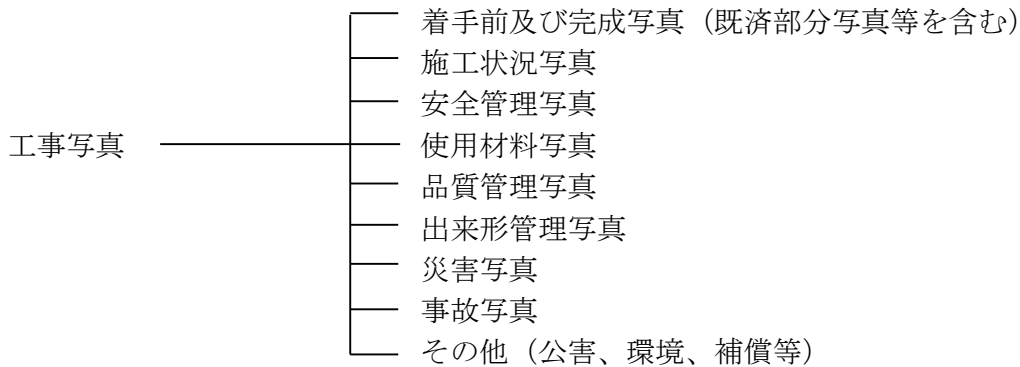
## 1. 総 則

### 1-1 適用範囲

この写真管理基準は、土木工事施工管理基準に定める土木工事の工事写真による管理（フィルムカメラを使用した撮影～提出）に適用する。

### 1-2 工事写真の分類

工事写真は次のように分類する。



## 2. 撮影

### 2-1 撮影頻度

工事写真は写真管理基準(案)の撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。

### 2-2 撮影方法

写真撮影にあたっては、以下の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- ① 工事名
- ② 工種等
- ③ 測点（位置）
- ④ 設計寸法
- ⑤ 実測寸法
- ⑥ 略図

小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。  
また特殊な場合で監督職員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

### 2-3 情報化施工及び3次元データによる施工管理

~~「3次元計測技術TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）」、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地~~



~~大型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。~~

また、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

#### 2-4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- (3) 監督職員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略するものとする。

#### 2-5 撮影の仕様

写真の色彩や大きさは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。  
ただし、監督職員が指示するものは、その指示した大きさとする。

#### 2-6 留意事項

写真管理基準(案)の撮影箇所一覧表の適用について、以下の事項に留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。
- (2) 施工状況等の写真については、ビデオ等の活用ができるものとする。
- (3) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (4) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図（撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など）を工事写真帳に添付する。
- (5) 写真管理基準(案)の撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督職員と写真管理項目を協議のうえ取り扱いを定めるものとする。

### 3. 整理提出

工事写真として、撮影写真の原本及び工事写真帳を各1部提出するものとし、その整理方法等は以下によるものとする。

#### (1) 撮影写真の原本

撮影写真の原本とは、写真管理基準(案)の撮影箇所一覧表「撮影頻度」に基づいて撮影した写真のネガをいい、密着写真とともに撮影内容がわかるようにネガアルバムに整理し提出するものとする。

#### (2) 工事写真帳

工事写真帳は、写真管理基準(案)の撮影箇所一覧表「撮影頻度」に基づいて撮影した写真のうち、「提出頻度」に示す写真をアルバム等に整理したものをいい、工事写真帳の大きさは、4切版またはA4版とする。

#### 4. その他

写真管理基準(案)撮影箇所一覧表の用語の定義

- (1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所でその仕様が確認できる箇所をいう。
- (2) 適宜とは、設計図書の様子が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。
- (3) 不要とは、工事写真帳として貼付整理し提出する必要がないことをいう。